

産業連関表による情報部門のマクロ分析

— 『2005年日米国際産業連関表』を利用して—

河田 祐也

1. はじめに

ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) の発展によって、生産や流通システムの「調整」が容易になり、生産性の向上や流通の効率化が進んだことは間違いない。生産においては、ICTの利用によって、生産委託や部品取引などの緊密な分業ネットワークが形成され、リードタイムの短縮や生産工程の改善が進んだ。流通においては、POS機能の高度化によって在庫や受発注管理の効率化が進んだだけでなく、顧客情報や売れ筋・死に筋などの商品情報の収集が容易になり、それがマーチャンダイジングや商品開発などにも活かされるようになった。

このように、生産や流通システムの「調整」において、多くの産業はネットワーク型の組織を編成し、情報部門との関連を強めている。それによって、GDPに占める情報部門の比重は高まっている。しかし、その情報部門への付加価値の流れは不透明であり、具体的にどのような産業との関連が強くなっているのかは、それほどはっきりとしていない。もちろん、ミクロレベルの分析はいくつか行われているが、国民経済レベルでの分析や国際比較などはほとんど行われておらず、情報部門のマクロ分析は今日的な課題となっている。グローバル化の影響などによって、中間組織論的な「ネットワーク・モード」¹⁾の調整を余儀なくされているマーケティングにとって、生産・流通部門と情報部門とのマクロ的な関連を知るこ

とは、管理的な側面からだけでなく、社会経済的な側面からもこれからますます重要となってくるはずである。

そこで本稿では、情報通信活動や研究・開発などを行う「情報部門」が、マクロ経済のなかでどのような位置を占めているのかを、経済学の産業連関論の手法を用いて、付加価値誘発額を軸に分析していく。産業連関表では、対象となっている国の経済が複数の産業部門に分割され、部門間の取引が網羅的に記述されているため、たとえば、民生用電子機器部門と情報サービス部門との関係など、メゾ・マクロの次元から情報部門との関係を分析することができる。ここでは、経済産業省によって公表されている「2005年日米国際産業連関表」を利用して、日米の産業部門と情報部門との関係を分析していく。経済産業省の「日米国際産業連関表」は1985年表から5年ごとに作成・公表されているが、2005年表からは、新たに「インターネット・サービス」部門が設けられており、情報部門のより詳細な分析が行えるようになっている。

以下では、まず「2005年日米国際産業連関表」の概要や基本的な読み方を確認し、共通部門分類や付加価値誘発額の算出法についての説明を行っていく。その後で、日米の産業部門に発生した最終需要から付加価値誘発額を算出し、マクローメゾ・マクロの次元から情報部門との関係を分析していく。

2. 日米国際産業連関表の概要と部門分類

まずは、図2-1の「2005年日米国際産業連関表」(以下、'05日米I-O表と呼ぶ)のひな型を用いて、国際産業連関表の構造と基本的な読み方から確認していくことにしよう。この'05日米I-O表は、「非競争輸入型(アイサード型)」の産業連関表と呼ばれるもので、同一の生産物であっても生産される国や地域が異なれば、非代替的な生産物として別個のものとして扱われている。たとえば、同じ「穀類(部門コード:001)」に分類されている生産物であっても、日本の生産物は「穀類(部門コード:1001)」として、米国の生産物は「穀類(部門コード:2001)」として分類され、別個に計上される。また、各財の価格評価は、生産者の出荷価格で行われおり、そこで示される金額は全てドル表示となっている。ここでは、日本の取引額(円単位)を、IMFの2005年対ドル年平均為替レート1ドル=110.22円で換算している。

次に、産業連関表の基本的な読み方を確認していくことにしよう。産業連関表はヨコ方向とタテ方向の二つの方向に沿って読むことができる。表をヨコ方向(行方向)に沿って読むと、生産物の販売先の構成を知ることができる。販売先は、大

きく「中間需要」と「最終需要」の二つの部分に分けられる。「中間需要」は、各産業部門への中間投入財の販売部分、「最終需要」は、最終消費や設備投資、輸出などの最終需要者への販売部分を表している。たとえば、この図2-1の「日本の生産物」を起点にして右へヨコ方向に読んでいけば、最初に「中間需要」部分に当たる①②を確認することができる。①は日本、②は米国の産業部門への中間投入財の販売部分になる。この「中間需要」部分から、さらに右へヨコ方向に読んでいくと、「最終需要」部分に当たる③④⑤を確認することができる。③は日本、④は米国、⑤はその他の国(ROW: Rest Of the World)の最終需要者への販売部分となる。この①から⑤の行合計が、「日本の生産物」の販売額合計となる。

他方、産業連関表をタテ方向(列方向)に沿って読むと、産業の費用構成、つまり、各産業が生産活動を行うために、どの産業からどれだけの財・サービスを購入し、どれだけの付加価値を生み出したのかということがわかる。たとえば、図2-1の「日本の生産活動」を起点にして、下へタテ方向に読んで行けば、中間投入の部分に当たる①⑥を確認することができる。①は日本、⑥は米国の産業部門から中間投入財を購入した部分にな

図2-1. 日米国際産業連関表の構造

		中間需要		最終需要			国内生産額
		日本の生産活動	米国の生産活動	日本の国内最終需要	米国の国内最終需要	ROWへの輸出	
中間投入	日本の生産物	①	②交易部分(日→米)	③	④交易部分(日→米)	⑤	
	米国の生産物	⑥交易部分(米→日)		交易部分(米→日)			
	関税・運賃等	⑦					
	ROWからの輸入	⑧					
	ROWの関税	⑨					
粗付加価値		⑩					
国内生産額							

産業連関表による情報部門のマクロ分析（河田）

る。さらにその下を見ていくと、⑦の関税・運賃、⑧のROWからの中間投入のための輸入、⑨のROWの関税を確認することができる。そして、最後の⑩が「日本の生産活動」によって生まれた付加価値であり、この①から⑩の列合計が「日本の生産活動」の費用額合計となる。なお、産業連関表では、この列合計の「費用額合計」と行合計の「販売額合計」が一致するように作成されている。これは、各産業の販売額は、その産業が中間投入などのために投じた費用合計と付加価値の和と同額であることを表しており、産業連関分析を

行う上で重要な性質となっている。

次に、産業連関表の構造を理解するために、産業分類について確認しておくことにしよう。国際産業連関表を作成するうえで障害となるのは、国によって産業分類が異なることである。産業の定義や分類の違いは、部門数において大きな差異を生み出すことになる。しかし、'05日米I-O表においては、日米の既存のI-O部門分類を考慮しつつ、慎重に分類が行われている。そのような分類基準に沿って作成されたのが、表2-1の「日米共通部門分類表」である。

表2-1. 日米共通部門分類表

統合大分類（27 部門分類）		統合中分類（54 部門）		基本分類（174 部門）		
部門コード	部門名	部門コード	部門名	部門コード	部門名	部門区分
001	農業	001	耕種農業	001	穀類	G
				002	野菜及びいも類	G
				003	果実	G
				004	その他の食用作物	G
				005	砂糖原料作物	G
				006	その他の非食用作物	G
		002	畜産	007	畜産（牛）	G
				008	養鶏	G
				009	その他の畜産	G
		003	農林サービス	010	農林サービス	S
002	林業	004	林業	011	林業	G
003	漁業	005	漁業	012	漁業	G
004	鉱業	006	鉱業	013	金属鉱物	G
				014	砂利・碎石・窯業原料鉱物	G
				015	その他の非金属鉱物	G
		007	石炭	016	石炭	G
008	原油天然ガス	017	原油・天然ガス	G		
005	食料品	009	食料品	018	肉・肉製品	G
				019	酪農品	G
				020	水産食料品	G
				021	精穀・製粉	G
				022	パン・菓子類	G
				023	その他の農産加工食品	G
				024	砂糖	G
				025	植物油脂	G
				026	調味料	G
				027	その他の食料品	G
		010	飲料	028	酒類	G
				029	茶・コーヒー	G
				030	清涼飲料／製水	G
				031	飼料	G

表 2-1. 日米共通部門分類表 (その2)

統合大分類 (27 部門分類)		統集中分類 (54 部門)		基本分類 (174 部門)						
006	繊維製品	012	たばこ	032	たばこ	G				
		013	繊維製品	033	製糸・紡績	G				
				034	織物・染色整理	G				
				035	ニット生地	G				
				036	床敷物	G				
				037	その他の繊維工業製品	G				
				038	衣服・身廻品	G				
				039	製材・チップ	G				
007	パルプ・紙・木製品	014	製材・木製品・家具	040	合板	G				
				041	その他の木製品	G				
				042	家具・装備品・建具	G				
				015	パルプ・紙・紙加工品	043	パルプ	G		
						044	紙・加工紙	G		
						045	紙製容器	G		
		046	その他の紙加工品			G				
		008	出版・印刷	016	出版・印刷	047	新聞	I		
048	印刷					I				
049	出版					I				
009	化学製品	017	化学製品	050	無機化学基礎製品	G				
				051	石油化学製品	G				
				052	有機化学製品	G				
				053	肥料	G				
				054	農薬	G				
				055	合成樹脂	G				
				056	化学繊維	G				
				057	医薬品	G				
				058	石鹼・合成洗剤・界面活性剤	G				
				059	化粧品・歯みがき	G				
				060	塗料・印刷インキ	G				
				061	その他の化学製品	G				
				010	石油・石炭製品	018	石油・石炭製品	062	石油・石炭製品	G
				011	プラスチック・ゴム・革製品	019	プラスチック・ゴム・革製品	063	プラスチック製品	G
064	ゴム製品	G								
065	履き物	G								
066	製革・毛皮	G								
067	その他の革製品	G								
012	窯業・土石製品	020	窯業・土石製品					068	ガラス・ガラス製品	G
								069	セメント	G
				070	生コンクリート	G				
				071	セメント製品及び建設用土石製品	G				
				072	陶磁器	G				
				073	炭素・黒鉛製品	G				
				074	その他の窯業・土石製品	G				
				075	鉄鋼・同一次製品	G				
013	鉄鋼・同一次製品	021	鉄鋼・同一次製品	076	銅・伸銅品	G				
014	非鉄金属・同製品	022	非鉄金属・同製品	077	アルミニウム・同圧延製品	G				
				078	電線・ケーブル	G				
				079	その他の非鉄金属・同加工品	G				

産業連関表による情報部門のマクロ分析（河田）

表 2-1. 日米共通部門分類表（その3）

統合大分類（27 部門分類）		統集中分類（54 部門）		基本分類（174 部門）						
015	その他の金属製品	023	その他の金属製品	080	建設・建築用金属製品	G				
				081	その他の金属製品	G				
016	一般機械	024	一般機械	082	原動機・ボイラ	G				
				083	土木建設・運搬機械	G				
				084	農業機械	G				
				085	金属加工・工作機械	G				
				086	その他の一般産業機械	G				
				087	特殊産業機械	G				
				088	半導体製造装置	G				
				089	その他の一般機械	G				
				090	サービス用機械	G				
				017	電気機械	026	民生用電子・電気機器	091	民生用電子機器	G
092	民生用電気機器	G								
027	電子・通信機械機器	093	電子計算機			G				
		094	電子計算機付属装置			G				
		095	有線電気通信機械			G				
		096	その他の電気通信機械			G				
		028	電機・電子部品及び付属品			097	電子応用装置	G		
						098	電気計測器	G		
099	半導体素子・集積回路					G				
100	電子管					G				
101	磁気テープ・フレキシブルディスク					G				
102	回転電気機械					G				
029	その他の電気機器	103	電球			G				
		104	その他の電子部品			G				
		105	電池			G				
		106	その他の電気機器			G				
		018	輸送機械			030	自動車	107	自動車	G
								108	自動車部品	G
031	その他の輸送機械・同修理			109	二輪自動車・自転車	G				
				110	船舶・同修理	G				
				111	鉄道車両	G				
				112	航空機・同修理	G				
				113	その他の輸送機械（除別掲）	G				
				114	カメラ・複写機	G				
019	精密機械	032	精密機械	115	医療用機械器具	G				
				116	その他の精密機械	G				
				020	その他の製造工業製品	033	その他の製造工業製品	117	玩具・運動用品	G
118	楽器	G								
119	情報記録物	G								
120	筆記具・文具	G								
121	身辺細貨品	G								
122	武器	G								
123	その他の製造工業品	G								
021	建設	034	建築および補修					124	住宅新建築	S
				125	非住宅新建築	S				
				126	建設補修	S				
		035	土木建設	127	その他の建設	S				

表 2-1. 日米共通部門分類表 (その4)

統合大分類 (27 部門分類)		統合中分類 (54 部門)		基本分類 (174 部門)						
022	電力・ガス・水道・熱供給・ 廃棄物処理	036	電力・ガス	128	電力	S				
				129	ガス	S				
		037	水道・熱供給・廃棄物処理	130	水道・熱供給業	S				
				131	廃棄物処理	S				
023	商業	038	商業	132	卸売	D				
				133	小売	D				
024	金融・保険・不動産	039	金融・保険	134	金融	S				
				135	保険	S				
		040	不動産	136	不動産業	S				
				137	住宅賃貸料 (帰属家賃)	S				
025	運輸	041	運輸	138	鉄道	D				
				139	道路旅客輸送	D				
				140	道路貨物輸送	D				
				141	水運・同付帯サービス	D				
				142	航空輸送・同付帯サービス	D				
				143	その他の運輸付帯サービス	D				
				144	倉庫	D				
				145	旅行代理業	D				
				026	サービス	042	通信・放送	146	郵便	I
								147	通信	I
148	放送	I								
043	公務	149	公務			S				
044	教育・研究	150	教育			S				
		151	研究			I				
		045	医療・保険			152	医療・保健・介護	S		
046	その他の非営利団体	153	獣医学			S				
		154	その他非営利団体			S				
047	広告・情報サービス	155	広告			I				
		156	情報サービス			I				
		157	インターネットサービス			I				
048	物品賃貸業	158	機械器具賃貸業			S				
		159	貸自動車			S				
		160	その他の物品賃貸業			S				
049	修理	161	自動車修理			S				
		162	その他の修理			S				
050	その他の対事業所サービス	163	建物サービス			S				
		164	法務・財務・会計サービス			S				
		165	その他の対事業所サービス			S				
051	娯楽サービス	166	映画	S						
		167	娯楽サービス	S						
052	飲食店	168	飲食店	S						
053	その他の対個人サービス	169	旅館・その他の宿泊所	S						
		170	理容・美容業	S						
		171	その他の対個人サービス	S						
027	分類不明・その他	054	分類不明・その他	172	くず・中古品	S				
				173	分類不明・その他	S				
				174	家計外消費支出	S				

’05 日米 I-O 表の共通部門分類においては、「統合大分類」で 27、「統合中分類」で 54、「基本分類」で 174 の産業部門に分類されている。表 2-1 の右端にある「部門区分」は、付加価値配分のマクロ比較を行うために、「基本分類」の 174 部門を、「財貨部門 (G)」「サービス部門 (S)」「流通部門 (D)」「情報部門 (I)」の 4 つの部門にグループ化したものである。

ここでは、それを江上哲の産業連関論によるマクロ流通分析の議論を参考にしながら、まず、「基本分類」の 174 部門を「財貨部門 (G)」「サービス部門 (S)」「流通部門 (D)」の 3 部門にグループ化した²⁾。そこから、総務省の「情報産業連関モデル」の部門分類をもとに、情報通信活動を行う「情報部門 (I)」を選出し、さらに 4 部門にグループ化した。「情報通信産業連関モデル」では、「情報通信活動」を、企業が経済活動を通じて、情報を生産、収集、加工、蓄積、提供、伝達する活動と捉えており、図 2-2 のように、全産業を「情報通信産業」と「一般産業」とに分け、さら

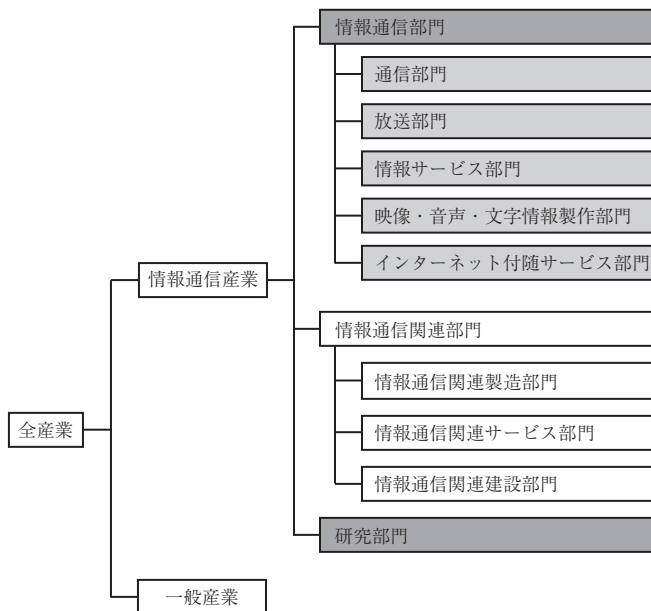
に「情報通信産業」を、「情報通信部門」「情報通信関連部門」「研究部門」の 3 つの部門にグループ化している。しかし、情報通信活動を間接的に支援する「情報通信関連部門」は、その範囲が曖昧であり、「一般産業」との違いもはっきりしないため、ここでは、直接的に情報通信活動を行う「情報通信部門」と研究・開発を行う「研究部門」の 2 部門を「情報部門 (I)」としている。

この部門区分に従って、’05 日米 I-O 表の 174 の産業部門を 4 部門にグループ化し、日米の需給構造を比較したものが以下の表 2-2 である。

3. 付加価値誘発額の算出法と情報部門のマクロ比較

産業連関分析では、この I-O 表のデータを活用することによって、需給均衡式や収支均衡式によって示されるバランス式から、生産波及や付加価値誘発などの様々な因果関係を推定することができる。最終需要から誘発された付加価値額は、一般的に図 3-1 のような計算式によって求めることが

図 2-2. 情報通信産業連関モデルの部門分類



出所：総務省（情報通信国際戦略局）『平成 24 年 情報通信産業連関表報告書』（http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/renkan/h24_data/h24_01.pdf）

できる。まずは、付加価値率を対角要素とした対角行列 \hat{V} にレオンチェフの逆行列係数 $B = (I-A)^{-1}$ を乗じ、準逆行列係数 $\hat{V}B$ を計算しておく。この準逆行列係数 $\hat{V}B$ に民間消費などの最終需要ベクトル FD を乗じれば、最終需要を起点とした付加価値誘発額を求めることができる。また、個別の産業部門やグループ化した部門から付加価値誘発額を求めるには、準逆行列係数 $\hat{V}B$ に求める部門以外の項目を 0 にした最終需要ベクトルを乗じればよい。

上記の式によって、日米の産業部門に発生した最終需要から誘発された付加価値が、各産業部門にどのように分配されていったのかがわかる。こ

こではまず、日米の「財貨部門 (G)」「サービス部門 (S)」「流通部門 (D)」に発生した最終需要から誘発された付加価値が、「情報部門 (I)」にどのように配分されているのかに注目し、付加価値誘発構造のマクロ比較を行っていく。'05 日米 I-O 表のデータをもとに、それを計算したのが表 3-1 と表 3-2 である。

まずは、日米の「財貨部門 (G)」からの付加価値誘発構造を確認していくことにしよう。源泉としての「財貨部門 (G)」から「情報部門 (I)」へ誘発された付加価値額の割合は、日本からが 4.6%、アメリカからが 5.2% となっており、0.6 ポイントだけアメリカからの誘発の方が大きく

表 2-2. '05 日米 I-O 表による日米の需給構造

(単位：10 万ドル)

需 要		中間需要		国内最終需要		ROW への 輸出等	国内生産額	
		日 本	米 国	日 本	米 国			
供 給	中 間 投 入	財貨部門	12,206,847	447,392	7,109,199	641,770	3,977,241	24,382,449
		サービス部門	12,716,197	120,885	26,692,656	36,996	79,993	39,646,727
		流通部門	5,197,382	96,087	6,748,619	139,182	1,081,396	13,262,666
		情報部門	3,457,949	4,495	1,879,628	1,533	66,097	5,409,702
		合 計	33,578,375	668,859	42,430,102	819,481	5,204,727	82,701,544
	米 国	財貨部門	343,710	26,038,688	182,081	16,147,540	6,183,970	48,895,989
		サービス部門	86,483	37,706,379	57,192	84,978,527	2,614,065	125,442,646
		流通部門	116,512	10,362,232	55,386	16,329,084	2,079,173	28,942,387
		情報部門	44,170	11,273,839	4,452	5,414,306	336,649	17,073,416
		合 計	590,875	85,381,138	299,111	122,869,457	11,213,857	220,354,438
ROW からの輸入等		3,871,309	10,349,100					
粗付加価値合計		44,660,985	123,955,341					
雇用者所得		23,481,904	70,307,996					
その他		21,179,081	53,647,345					
国内生産額		82,701,544	220,354,438					

図 3-1. 付加価値誘発額の計算式



なっている。この誘発割合の差は、アメリカの財貨部門の方が、情報部門との関連が深いことを表しており、マクロの部門間の関係を相対的に位置づける指標となっている。さらに、「情報部門（I）」の個別の内容を見ていくと、日米ともに情報サービス部門への誘発が大きくなっており、ソフトウェア開発や情報処理などを行う部門との関連が強くなっていることがわかる。その他では、日本からは、印刷部門、通信部門、広告部門への誘発が大きくなっており、製品のイメージに関わる部門に付加価値が多く配分されている。これに対して、アメリカからは、通信部門、研究部門への誘発が大きくなっており、情報通信や製品の研究・開発に関わる部門に付加価値が多く配分されている。この「情報部門（I）」における日米の付加価値配分の違いは、生産やマーケティングに対する考えの違いを如実に表しており、興味深い結果となっている。

次に、日米の「サービス部門（S）」からの付加価値誘発構造を確認していくことにしよう。源泉としての「サービス部門（S）」から「情報部門（I）」へ誘発された付加価値額の割合は、日本からが3.3%、アメリカからが4.2%となっており、この部門においてもアメリカからの誘発の方が大きくなっている。しかし、この「情報部門（I）」への誘発は、日米ともに他の2部門からの誘発よりも低い割合となっている。情報部門の詳細な内容を見ていくと、日米ともに通信部門と情報サービス部門への誘発が大きくなっており、情報の伝達や情報システムなどの構築を行っている部門との関連が強くなっていることがわかる。また、この「サービス部門（S）」においては、「財貨部門（G）」や「流通部門（D）」と比較すると、日米ともに広告部門との関連が弱くなっており、それが「情報部門（I）」全体の配分を引き下げる要因となっている。

最後に、日米の「流通部門（D）」からの付加価値誘発構造を確認していくことにしよう。源泉としての「流通部門（D）」から「情報部門（I）」

へ誘発された付加価値額の割合は、日米ともに5.1%となっており、他の2部門からの誘発と比較するとかなり高い割合となっている。「情報部門（I）」の個別の内容を見ていくと、日本からは、通信部門と情報サービス部門への誘発が、それぞれ1.5%、1.2%と大きくなっており、POSなどの情報システムの構築によって情報通信や情報処理などを行う部門との関連が強くなっていることが伺える。これに対して、アメリカから通信部門と情報サービス部門への誘発は、それぞれ0.9%、0.7%となっており、これらの部門との関連はそれほど強くなってはいない。

最終的に、全産業部門から「情報部門（I）」へ誘発され付加価値額の割合は、日本からが6.7%、アメリカからが7.5%となっており、アメリカの方が「情報部門（I）」との関連が強くなっている。「情報部門（I）」のより細かい内容を見ていくと、日米の産業部門ともに通信部門と情報サービス部門との関連が強くなっており、この2部門への誘発は、日本からが3.9%（通信部門が1.8%、情報サービス部門が2.1%）、アメリカからが4.5%（通信部門が2.0%、情報サービス部門が2.5%）と非常に高い割合を示している。また、'05日米I-O表から新たに設けられた「インターネット・サービス」部門への誘発に注目すると、日本からが0.1%、アメリカからが0.3%となっており、アメリカの方がやや関連が強くなっている。

このように、産業連関表のデータを用いて付加価値誘発額を算出すれば、付加価値の帰着先を細かく特定することができ、情報部門との関連を数量的に分析することができる。ここでは、部門区分でグループ化した「財貨部門（G）」「サービス部門（S）」「流通部門（D）」の3部門から「情報部門（I）」へ誘発された付加価値額の割合に注目し、マクロ的な比較を行った。しかし、より詳細に情報部門との関連を分析するためには、日米の各産業部門と「情報部門（I）」の各産業部門との関連に注目していく必要がある。以下では、日米の各産業部門からの付加価値誘発構造に注目し、

表 3-1. 日本の産業部門に発生した最終需要からの付加価値誘発構造

(単位：10万ドル，%)

源 泉 波及	日本の産業部門に発生した最終需要							
	全産業部門		財貨部門		サービス部門		流通部門	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合
合計	44,596,690	100.0%	9,712,738	100.0%	25,482,853	100.0%	7,524,595	100.0%
財貨部門計	8,663,574	19.4%	6,327,010	65.1%	1,970,289	7.7%	296,122	3.9%
サービス部門計	24,422,365	54.8%	1,607,003	16.5%	21,046,600	82.6%	1,358,814	18.1%
流通部門計	8,543,841	19.2%	1,332,029	13.7%	1,631,718	6.4%	5,489,250	73.0%
情報部門計	2,966,910	6.7%	446,696	4.6%	834,246	3.3%	380,408	5.1%
新聞	96,347	0.2%	20,316	0.2%	29,267	0.1%	14,608	0.2%
印刷	304,148	0.7%	79,040	0.8%	143,403	0.6%	48,473	0.6%
出版	84,841	0.2%	16,532	0.2%	35,969	0.1%	9,440	0.1%
郵便	139,150	0.3%	23,356	0.2%	64,140	0.3%	20,657	0.3%
通信	816,772	1.8%	75,372	0.8%	179,537	0.7%	113,780	1.5%
放送	152,221	0.3%	30,100	0.3%	46,089	0.2%	21,008	0.3%
研究	129,386	0.3%	19,886	0.2%	12,014	0.0%	2,859	0.0%
広告	251,286	0.6%	74,972	0.8%	101,891	0.4%	50,859	0.7%
情報サービス	946,264	2.1%	97,495	1.0%	206,244	0.8%	89,373	1.2%
インターネットサービス	46,495	0.1%	9,627	0.1%	15,691	0.1%	9,351	0.1%

表 3-2. 米国の産業部門に発生した最終需要からの付加価値誘発構造

(単位：10万ドル，%)

源 泉 波及	米国の産業部門に発生した最終需要							
	全産業部門		財貨部門		サービス部門		流通部門	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合
合計	124,019,635	100.0%	18,243,617	100.0%	83,005,379	100.0%	17,321,705	100.0%
財貨部門計	17,181,694	13.9%	11,636,908	63.8%	4,707,581	5.7%	690,937	4.0%
サービス部門計	80,137,976	64.6%	3,766,151	20.6%	71,561,639	86.2%	3,560,595	20.6%
流通部門計	17,436,574	14.1%	1,891,359	10.4%	3,224,097	3.9%	12,194,318	70.4%
情報部門計	9,263,392	7.5%	949,199	5.2%	3,512,061	4.2%	875,855	5.1%
新聞	290,439	0.2%	37,199	0.2%	112,177	0.1%	49,976	0.3%
印刷	459,931	0.4%	49,282	0.3%	271,293	0.3%	76,167	0.4%
出版	465,730	0.4%	38,960	0.2%	172,467	0.2%	49,041	0.3%
郵便	536,858	0.4%	48,403	0.3%	262,030	0.3%	149,770	0.9%
通信	2,500,912	2.0%	141,600	0.8%	832,063	1.0%	153,594	0.9%
放送	390,096	0.3%	61,342	0.3%	191,734	0.2%	79,825	0.5%
研究	673,954	0.5%	171,382	0.9%	405,201	0.5%	31,425	0.2%
広告	576,409	0.5%	102,314	0.6%	298,875	0.4%	133,490	0.8%
情報サービス	3,053,406	2.5%	275,565	1.5%	851,866	1.0%	129,795	0.7%
インターネットサービス	315,657	0.3%	23,153	0.1%	114,355	0.1%	22,771	0.1%

メゾ・マクロ的な視点から、情報部門との関連を分析していく。

4. 日米の産業部門から情報部門への付加価値誘発構造

ここでは、日米の各産業部門に発生した最終需要から付加価値誘発額を算出し、「情報部門（I）」との関連をメゾ・マクロ次元から分析していく。各産業部門に発生した最終需要を起点にして付加価値誘発額を算出するには、先に見た準逆行列係数に求める部門以外の項目を0にした最終需要ベクトルを乗じればよい。たとえば、日本の「穀類（1001）」部門に発生した最終需要からの付加価値誘発額を求めるには、「穀類（1001）」部門以外の最終需要項目を0にした最終需要ベクトルを作成し、準逆行列係数に乗じればよい。

だが、産業部門のなかには、最終需要額がゼロやマイナスになっている場合があり、分析が行えないことがある。これは、副産物や屑の発生額がストーン方式という方法によって処理されているためである³⁾。産業連関分析では、1つの生産活動は1つの生産物しか生産しないということを前提にしているため、このような処理法によって最終需要額がゼロやマイナスとなる場合がある。'05日米I-O表では、「砂糖原料作物」部門、「農林サービス」部門、「石炭」部門、「原油・天然ガス」部門、「くず・中古品」部門、「分類不明・その他」部門、「家計外消費支出」部門の7部門が、そのような処理によって最終需要がゼロかマイナスとなっている。

以下では、この7部門と情報部門を除いた157部門を18の分野に分けて、分野ごとに日米の産業部門からの付加価値誘発構造を分析していく。「情報部門（I）」の各部門に誘発された付加価値額の割合は、日米の各産業部門との関連の強さを数量的に測る指標となる。

4.1 農業・林業・漁業・鉱業分野

農業・林業・漁業・鉱業分野の結果から確認し

ていくことにしよう（表4-1参照）。この分野からの誘発（以下、ことわりのない限り「誘発」は「情報部門（I）」への付加価値誘発額の割合のことを指す）は、「財貨部門（G）」のなかでも低い割合となっており、情報部門との関連は非常に弱い。

まずは、「穀類」部門、「野菜及びいも類」部門、「果実」部門、「その他の食用作物」部門、「その他の非食用作物」部門から成る耕種農業分野の結果から見ていこう。この分野は、日本からの誘発が1.4～2.3%、アメリカからの誘発が2.1～3.0%となっており、「その他の非食用作物」部門以外は、アメリカからの誘発の方が大きくなっている。この分野は情報部門との関連が非常に弱くなっており、個別の配分を見ても特に目立った部門はない。

次に、「畜産（牛）」部門、「養鶏」部門、「その他の畜産」部門、「林業」部門、「漁業」部門から成る畜産・林業・漁業分野の結果を見ていこう。この分野では、日本からの誘発が0.7～2.6%、アメリカからの誘発が1.7～3.2%となっており、「その他の畜産」部門以外は、アメリカからの誘発の方が大きくなっている。この分野も情報部門との関連が非常に弱く、日本の「林業」部門からの誘発は、全産業部門のなかで最も低い割合となっている。

「金属鉱物」部門、「砂利・碎石・窯業原料鉱物」部門、「その他の非金属鉱物」部門から成る鉱業分野の結果を見ていこう。この分野では、日本からの誘発が3.7～3.8%、アメリカからの誘発が2.6～3.7%となっており、「砂利・碎石・窯業原料鉱物」部門と「その他の非金属鉱物」部門の2部門で日本からの誘発の方が大きくなっている。個別の内容を見ていくと、アメリカの「金属鉱物」部門から情報サービス部門への誘発が1.8%と大きくなっている。この情報サービス部門への誘発は、農業・林業・漁業・鉱業分野のなかでは最大となっている。

4.2 食料品・飲料・飼料・たばこ分野

食料品・飲料・飼料・たばこ分野の結果を見ていこう（表4-2参照）。まずは、ソーセージなどの肉製品の加工を行う「肉・肉製品」部門、牛乳などの乳製品を製造する「酪農品」部門、冷凍魚介類や缶詰などを製造する「水産食料品」部門から成る食料品分野の結果から確認していくことにしよう。この分野では、日本からの誘発が3.6～4.0%、アメリカからの誘発が3.8～5.5%となっており、「酪農品」部門以外は、アメリカからの誘発の方が大きくなっている。個別の配分を見ると、この食料品分野では、印刷部門への日本の部門からの誘発が大きくなっており、「酪農品」部門からが1.2%、「水産食料品」部門からが1.1%となっている。

続いて、「精穀・製粉」部門、「パン・菓子類」部門、「その他の農産加工食品」部門から成る食料品分野の結果を見ていくことにしよう。この食料品分野からの誘発は、日本からが2.3～5.0%、アメリカからが4.0～4.6%となっており、「パン・菓子類」部門以外は、アメリカからの誘発の方が大きくなっている。個別の部門への配分を見ると、日本の「パン・菓子類」部門から印刷部門、広告部門への誘発がそれぞれ1.4%、1.2%と大きくなっており、それが情報部門全体の誘発割合を押し上げる要因となっている。これに対して、アメリカの「パン・菓子類」部門からの誘発は、研究部門や情報サービス部門などへの配分が大きくなっている。

次に、「砂糖」部門、「植物油脂」部門、「調味料」部門、レトルト食品などの製造を行う「その他の食料品」部門から成る食料品分野の結果を確認していくことにしよう。この食料品分野からの誘発は、日本からが2.5～5.3%、アメリカからが3.2～6.3%となっており、「植物油脂」部門と「その他の食料品」部門においては日本からの誘発が、「砂糖」部門と「調味料」部門においてはアメリカからの誘発が大きくなっている。個別の内容を見ると、印刷部門への日本からの誘発が大きくなって

おり、その割合は、「調味料」部門からが1.2%、「その他の食料品」部門からが1.3%となっている。他方のアメリカは、「調味料」部門から情報サービス部門への誘発が1.2%と大きくなっている。

「酒類」部門、「茶・コーヒー」部門、「清涼飲料・製氷」部門から成る飲料分野の結果を見ていこう。この飲料分野においては、日本からの誘発が4.0～4.5%、アメリカからの誘発が3.4～5.9%となっており、「酒類」部門以外はアメリカからの誘発の方が大きくなっている。個別の内容を見ていくと、日本の飲料分野は、広告部門への誘発が大きくなっており、特に、「酒類」部門と「清涼飲料・製氷」部門からの誘発はともに1.3%と高い割合を示している。他方、アメリカの飲料分野は、日本と比較すると、研究部門への誘発が大きくなっており、「清涼飲料・製氷」部門からの誘発0.8%は、食料品・飲料・飼料・たばこ分野のなかでは最大となっている。

最後に、「飼料」部門と「たばこ」部門の結果を見ていくことにしよう。「飼料」部門は、日本からの誘発が3.4%、アメリカからの誘発が3.9%、「たばこ」部門は、日本からの誘発が2.6%、アメリカからの誘発が1.2%となっており、2部門ともに情報部門との関連がかなり弱くなっている。個別の内容を見ていくと、この分野では、日本の「たばこ」部門から広告部門への誘発が0.9%とやや大きくなっている。

4.3 繊維製品分野

繊維製品分野の結果を確認していこう（表4-3参照）。この分野からの誘発は、日本からが2.9～5.1%、アメリカからが4.0～7.0%となっており、「床敷物」部門以外は、アメリカからの誘発の方が大きくなっている。この分野からの誘発で目を引くのは、アメリカの「製糸・紡績」部門からの誘発であり、その割合は7.0%とかなり大きくなっている。その内訳を見ていくと、通信部門、研究部門、情報サービス部門に付加価値が多く配分されており、特に、研究部門への配分は1.7%

と高い割合を示している。また、印刷部門への誘発において、全ての部門で日本がアメリカを上回っていることもこの分野の特徴といえる。

4.4 パルプ・紙・木製品分野

パルプ・紙・木製品分野の結果を見てみよう（表4-4参照）。まずは、「製材・チップ」部門、「合板」部門、建設用木製品などを扱う「その他の木製品」部門、「家具・装備品・建具」部門から成る製材・木製品・家具分野の結果から確認していこう。この分野においては、日本からの誘発が1.6～4.4%、アメリカからの誘発が2.6～5.1%となっており、全ての部門でアメリカからの誘発の方が大きくなっている。個別の内容を見ていくと、この分野では、アメリカの「家具・装備品・建具」部門から情報サービス部門への誘発が1.2%と大きくなっている。

次に、「パルプ」部門、「紙・加工紙」部門、「紙製容器」部門、紙製衛生用品などを製造する「その他の紙加工品」部門から成るパルプ・紙・紙加工品分野の結果を確認していくことにしよう。この分野からの誘発は、日本からが3.8～7.2%、アメリカからが3.1～4.1%となっており、「紙製容器」部門以外は、日本からの誘発の方が大きくなっている。この分野のなかで特に目を引くのは、日本の「その他の紙加工品」部門からの誘発で、その割合は7.2%と非常に高い割合を示している。その内訳を見ると、印刷部門と広告部門に付加価値が多く配分されており、その割合はそれぞれ2.8%、1.4%となっている。その他の部門では、日本の「パルプ」部門から情報サービス部門への誘発が1.1%と大きくなっている。

4.5 化学・石油・石炭製品分野

化学・石油・石炭製品分野の結果を見ていこう（表4-5参照）。この分野は、研究部門へのアメリカからの誘発が非常に大きくなっている。

まずは、ソーダ工業製品などを扱う「無機化学基礎製品」部門、エチレンなどを扱う「石油化学

製品」部門、合成アルコール類などを扱う「有機化学製品」部門から成る化学製品分野の結果を見ていこう。この分野は、日本からの誘発が3.0～4.1%、アメリカからの誘発が5.7～6.6%となっており、全ての部門でアメリカからの誘発の方が大きくなっている。これは、研究部門へのアメリカからの誘発が大きくなっているためで、「石油化学製品」部門からの誘発は3.0%、「有機化学製品」部門からの誘発は2.7%とかなり高い割合を示している。

次に、「肥料」部門と「農薬」部門から成る化学製品分野の結果を見ていくことにしよう。「肥料」部門からの誘発は、日本からが3.9%、アメリカからが5.7%、「農薬」部門からの誘発は、日本からが5.6%、アメリカからが6.2%となっており、2部門ともにアメリカからの誘発の方が大きくなっている。この分野でも、研究部門へのアメリカからの誘発が大きくなっており、「農薬」部門からの誘発は3.0%とかなり高い割合を示している。

ポリエチレンや塩化ビニル樹脂などを扱う「合成樹脂」部門とレーヨン・アセテートや合成繊維などを扱う「化学繊維」部門から成る樹脂・繊維分野の結果を見ていくことにしよう。「合成樹脂」部門からの誘発は、日本からが4.2%、アメリカからが7.4%、「化学繊維」部門からの誘発は、日本からが4.2%、アメリカからが5.8%となっており、2部門ともにアメリカからの誘発の方が大きくなっている。個別の内容を見ていくと、この分野でもやはりアメリカの部門から研究部門への誘発が大きくなっており、「合成樹脂」部門からは3.5%、「化学繊維」部門からは2.5%と高い割合を示している。

次に、「医薬品」部門の結果を確認していくことにしよう。この部門からの誘発は、日本からが10.6%、アメリカからが7.2%となっており、両国ともに情報部門との関連が非常に強くなっている。より詳細な内容を見ていくと、日本の部門からの誘発は、通信部門、広告部門、情報サービス

部門の3部門に付加価値が集中しており、それぞれ2.4%、2.1%、1.7%と高い割合を示している。また、インターネット・サービス部門への誘発が大きくなっていることも、日本の部門の特徴となっている。他方、アメリカの部門からの誘発は、研究部門に付加価値が集中しており、その割合は3.0%とかなり大きくなっている。

続いて、「石鹼・合成洗剤・界面活性剤」部門と「化粧品・歯みがき」部門から成る石けん・界面活性剤・化粧品分野の結果を見ていこう。「石鹼・合成洗剤・界面活性剤」部門からの誘発は、日本からが11.8%、アメリカからが5.7%、「化粧品・歯みがき」部門からの誘発は、日本からが16.3%、アメリカからが7.3%となっており、2部門ともに日本からの誘発の方が大きくなっている。この分野で注目すべきは、日本からの誘発が非常に大きくなっていることであり、「化粧品・歯みがき」部門からの誘発は、全産業部門の誘発のなかで最大となっている。個別の内容を見ていくと、日本からの誘発は広告部門への偏りが大きくなっており、「石鹼・合成洗剤・界面活性剤」部門からが4.2%、「化粧品・歯みがき」部門からが6.4%となっている。また、日本からの誘発は、新聞部門や放送部門の配分も大きくなっており、製品のイメージに関する部門に付加価値が集中していることがわかる。これに対して、アメリカからの誘発は2部門ともに研究部門への誘発が大きくなっており、製品の研究・開発を行う部門との関連が強くなっている。その他では、日本の部門とインターネット・サービス部門との関連が非常に強くなっているのも、この分野の特徴となっている。

「塗料・印刷インキ」部門、「その他の化学製品」部門から成る化学最終製品分野の結果を見ていこう。「塗料・印刷インキ」部門からの誘発は、日本からが5.2%、アメリカからが7.9%、「その他の化学製品」部門からの誘発は、日本からが6.1%、アメリカからが8.5%となっており、2部門ともにアメリカからの誘発の方が大きくなって

いる。この日米の差は、研究部門への配分によって生じており、アメリカの「塗料・印刷インキ」部門と「その他の化学製品」部門からの誘発は、それぞれ3.4%、4.0%と非常に大きな割合となっている。これに対して、日本は印刷部門への誘発が大きくなっており、「塗料・印刷インキ」部門からが1.2%、「その他の化学製品」部門からが1.3%となっている。

最後に、「石油・石炭製品」部門の結果を見ていこう。この部門からの誘発は、日本からが1.1%、アメリカからが4.5%となっており、アメリカの誘発の方が大きくなっている。この部門では、情報サービス部門へのアメリカからの誘発が1.2%と大きくなっているぐらいで、その他では特に目立った部門はない。

4.6 プラスチック・ゴム・革製品分野

プラスチック・ゴム・革製品分野の結果を見ていこう(表4-6参照)。まずは、「プラスチック製品」部門からの誘発を見ていくと、日本からが3.7%、アメリカからが4.6%となっており、アメリカの方が0.9ポイントほど大きくなっている。この部門では、研究部門へのアメリカからの誘発が1.1%と大きくなっている。

タイヤ・チューブなどの製造を行う「ゴム製品」部門の結果を見ていこう。この部門からの誘発は、日本からが4.0%、アメリカからが4.2%となっており、僅かではあるがアメリカの方が大きくなっている。この部門は、情報サービス部門へのアメリカからの誘発が1.0%と大きくなっている。

次に、「履物」部門の結果を見ていこう。この部門からの誘発は、日本からが3.6%、アメリカからが4.8%となっており、日米の差は1.2ポイントとなっている。個別の内容を見ていくと、研究部門へのアメリカからの誘発が1.0%と大きくなっている。

最後に、「製革・毛皮」部門と「その他の革製品」部門から成る革製品分野の結果を見ていこう。「製革・毛皮」部門では、日本からの誘発が3.0%、

アメリカからの誘発が4.1%、「その他の革製品」部門では、日本からの誘発が3.9%、アメリカからの誘発が5.6%となっており、2部門ともにアメリカからの誘発の方が大きくなっている。この分野では、アメリカの「その他の革製品」部門から研究部門、情報サービス部門への誘発が大きくなっており、その割合はそれぞれ1.0%、1.2%となっている。

4.7 窯業・土石製品分野

窯業・土石製品分野の結果を見ていこう（表4-7参照）。まず、「ガラス・ガラス製品」部門の結果から見ていくと、日本からの誘発は3.9%、アメリカからの誘発は3.5%となっており、日本の方が0.4ポイントほど大きくなっている。この部門は、日米ともに情報部門との関連があまり強くはなく、付加価値配分において特に目立った部門はない。

次に、「セメント」部門、「生コンクリート」部門、「セメント製品及び建設用土石製品」部門から成るセメント製品分野の結果を見ていくことしよう。この分野においては、日本からの誘発が3.1~4.1%、アメリカからの誘発が2.8~4.1%となっており、「セメント」部門以外はアメリカからの誘発の方が大きくなっている。個別の内容を見ると、この分野も情報部門との関連が弱くなっており、付加価値配分において目立った部門はない。

最後に、「陶磁器」部門、「炭素・黒鉛製品」部門、「その他の窯業・土石製品」部門から成る陶磁器・窯業・土石製品分野の結果を見ていこう。この分野からの誘発は、日本からが3.5~4.4%、アメリカからが3.3~3.9%となっており、「その他の窯業・土石製品」部門以外は日本からの誘発が大きくなっている。この分野では、日本の「陶磁器」部門から情報サービス部門への誘発が1.1%と大きくなっている。

4.8 鉄鋼・非鉄金属・金属製品分野

鉄鋼・非鉄金属・金属製品分野の結果を見てい

こう（表4-8参照）。まずは、「鉄鋼・同一次製品」部門からの誘発を見ていくと、日本からが2.8%、アメリカからが3.4%となっており、アメリカの方が0.6ポイントほど大きくなっている。この部門も情報部門との関連が弱く、個別の配分を見ても、特に目立った部門はない。

次に、「銅・伸銅品」部門、「アルミニウム・同圧延製品」部門、「電線・ケーブル」部門、「その他の非鉄金属・同加工品」部門から成る非鉄金属・同製品分野の結果を確認していくことにしよう。この分野からの誘発は、日本からが3.9~4.4%、アメリカからが3.4~4.2%となっており、「電線・ケーブル」部門以外は日本からの誘発が大きくなっている。個別の内容を見ていくと、この分野からの誘発は、日本の「アルミニウム・同圧延製品」部門から情報サービス部門への誘発が1.1%、日本の「その他の非鉄金属・同加工品」部門から通信部門と情報サービス部門への誘発がともに1.1%と大きくなっている。

最後に、「建設・建築用金属製品」部門、「その他の金属製品」部門から成る金属製品分野の結果を見ていこう。「建設・建築用金属製品」部門では、日本からの誘発が3.9%、アメリカからの誘発が4.5%、「その他の金属製品」部門では、日本からの誘発が3.1%、アメリカからの誘発が3.9%となっており、2部門ともにアメリカからの誘発の方が大きくなっている。個別の内容を見ると、日米ともに「建設・建築用金属製品」部門から通信部門への誘発が1.1%と大きくなっている。

4.9 一般機械分野

一般機械分野の結果を見ていこう（表4-9参照）。まずは、「原動機・ボイラ」部門、「土木建設・運搬機械」部門、「農業機械」部門、「金属加工・工作機械」部門、「その他の一般産業機械」から成る一般産業機械分野の結果から確認していこう。この分野からの誘発は、日本からが3.8~4.2%、アメリカからが3.3~5.5%となっており、「原動機・ボイラ」部門と「土木建設・運搬機械」

部門以外は、アメリカからの誘発の方が大きくなっている。個別の配分を見ていくと、情報サービス部門への誘発で、日本の「土木建設・運搬機械」部門からが1.2%、アメリカの「金属加工・工作機械」部門からが1.7%と高い割合になっている。

次に、「特殊産業機械」部門、「半導体製造装置」部門、「その他の一般機械」部門から成る特殊産業機械分野の結果を確認していくことにしよう。この分野からの誘発は、日本からが3.6~4.5%、アメリカからが3.9~5.6%となっており、全ての部門でアメリカからの誘発の方が大きくなっている。この分野においては、情報サービス部門への誘発が大きくなっており、特に、日本の「特殊産業機械」部門からは1.5%、アメリカの「半導体製造装置」部門からは1.9%と高い割合を示している。

最後に、「サービス用機械」部門の結果を確認していこう。この部門からの誘発は、日本からが5.7%、アメリカからが5.3%となっており、日本の方が0.4ポイントほど大きくなっている。この部門は、「製造部門(G)」のなかでは情報部門との関連がやや強くなっており、個別の内容を見ていくと、日本からは、印刷部門と情報サービス部門への誘発が大きくなっており、その割合はそれぞれ1.3%、1.2%となっている。他方、アメリカからは、通信部門と情報サービス部門への誘発が、それぞれ1.3%、1.2%と大きくなっている。

4.10 電気機械分野

電気機械分野の結果を確認していくことにしよう(表4-10参照)。この電気機械分野は、情報部門との関連が非常に強い分野となっている。

まずは、電気音響機器やラジオ・テレビ受信機を製造する「民生用電子機器」部門、民生用エアコンディショナなどを製造する「民生用電気機器」部門から成る民生用機器分野の結果から確認していくことにしよう。「民生用電子機器」部門では、日本からの誘発が6.8%、アメリカからの

誘発が11.3%となっており、日米の差は4.5ポイントとかなり大きくなっている。他方、「民生用電気機器」部門では、日本からの誘発が5.4%、アメリカからの誘発が4.1%となっており、日本の方が1.3ポイントほど大きくなっている。個別の配分を見ていくと、アメリカの「民生用電子機器」部門から情報サービス部門への誘発が6.6%と非常に高い割合を示しており、音響機器などのソフトウェアを作成する部門との関連が非常に強くなっていることが伺える。日本の「民生用電子機器」部門も情報サービス部門への誘発が1.5%と大きくなっているが、アメリカの部門ほど情報部門との関連は強くなってはいない。

「電子計算機」部門、「電子計算機付属装置」部門、「有線電気通信機械」部門、「その他の電気通信機械」部門から成る電子・通信機械機器分野の結果を見ていこう。まずは、パーソナルコンピュータ(PC)などを製造する「電子計算機」部門の結果から見ていくと、日本からの誘発が8.2%、アメリカからの誘発が12.9%となっており、両国ともに情報部門との関連が非常に強くなっている。個別の内容を見ていくと、日本からは、印刷部門、通信部門、広告部門、情報サービス部門への誘発が大きくなっており、その割合は、それぞれ1.2%、1.3%、1.1%、2.5%となっている。他方のアメリカは、情報サービス部門への誘発が8.4%と配分の偏りがかなり大きくなっており、PCなどのプログラムやソフトウェアの開発などを行う部門との結びつきが非常に強くなっていることがわかる。

次に「電子計算機付属装置」部門の結果を見ていくと、日本からの誘発が6.4%、アメリカからの誘発が14.4%となっており、この部門もアメリカからの誘発が突出して大きくなっている。個別の内容を見ていくと、日本からは、情報サービス部門への誘発が大きくなっており、その割合は2.3%となっている。これに対して、アメリカからは、研究部門、情報サービス部門への誘発が大きくなっており、その割合は、それぞれ2.2%、

8.1%となっている。ここでも、アメリカの部門は情報サービス部門との関連が非常に強くなっている。

さらに、電話機やファクシミリなどを製造する「有線電気通信機械」部門の結果を見ていこう。この部門は、日本からの誘発が6.9%、アメリカからの誘発が8.4%となっており、アメリカの方が1.5ポイントほど大きくなっている。この部門では、日本からは、印刷部門、通信部門、情報サービス部門への誘発が大きくなっており、それぞれの割合は、1.1%、1.2%、1.7%となっている。これに対して、アメリカからは、通信、研究、情報サービス部門への誘発が大きくなっており、それぞれの割合は、1.0%、2.0%、3.4%となっている。

無線通信機械などを製造する「その他の電気通信機械」部門の結果を見ていこう。この部門からは、日本からの誘発が6.4%、アメリカからの誘発が12.2%となっており、日米の差は5.8ポイントとかなり大きくなっている。この差は研究部門や情報サービス部門の配分によって生じており、アメリカの研究部門への誘発は2.5%、情報サービス部門への誘発は5.7%と非常に高い割合を示している。

次に、「電子応用装置」部門、「電気計測器」部門、「半導体素子・集積回路」部門、「電子管」部門、「磁気テープ・フレキシブルディスク」部門から成る電機・電子部品及び付属品分野の結果を見ていくことにしよう。この分野からの誘発は、日本からが5.5~6.4%、アメリカからが4.7~12.5%となっており、「電子管」部門以外はアメリカからの誘発の方が大きくなっている。この分野で目を引くのは、アメリカの「電気計測機」部門と「磁気テープ・フレキシブルディスク」からの誘発の大きさであり、それぞれ12.0%、12.5%と非常に高い割合を示している。その内訳を見ると、両部門ともに情報サービス部門への誘発が大きくなっており、それぞれ7.5%、8.8%となっておる。これに対して、情報サービス部門への日本からの誘発は、この分野では「電子応用装置」

部門からの2.1%が最大となっており、アメリカの部門と比べると、この部門との関連はそれほど強くなってはいない。

最後に、「回転電気機械」部門、「電球」部門、「その他の電子部品」部門、「電池」部門、「その他の電気機器」部門から成るその他の電気機器分野からの誘発を確認していくことにしよう。この分野からの誘発は、日本からが4.5~5.7%、アメリカからが2.5~6.8%となっており、「その他の電子部品」部門以外は日本からの誘発の方が大きくなっている。この分野は、他の電気機械分野と比較すると、それほど情報部門との関連が強くなってはおらず、特に、情報サービス部門とアメリカの部門との関連はかなり弱くなっている。情報サービス部門への誘発は、この分野では、全て日本の部門の方が大きくなっている。

4.11 輸送機械分野

輸送機械分野の結果を見ていこう（表4-11参照）。まずは、「自動車」部門と「自動車部品」部門から成る自動車分野の結果から見ていくことにしよう。「自動車」部門からの誘発は、日本からが4.8%、アメリカからが4.1%となっており、日本の方が0.7ポイントほど大きくなっている。他方、「自動車部品」部門からの誘発は、日本からが3.9%、アメリカからが4.3%となっており、アメリカの方が0.4ポイントほど大きくなっている。予想とは異なり、この分野と情報部門との関連はそれほど強くなってはいない。マーケティング活動との関連が深い広告部門への誘発を見ても、日本からが0.9%、アメリカからが0.5%となっており、先に見た「化粧品・菌みがき」部門からの誘発ほど大きな割合にはなっていない。

次に、「二輪自動車・自転車」部門、「船舶・同修理」部門、「鉄道車両」部門、「航空機・同修理」部門、「その他の輸送機械（除別掲）」部門から成るその他の輸送機械・同修理分野の結果を見ていくことにしよう。この分野からの誘発は、日本からが3.4~4.6%、アメリカからが4.4~6.8%と

なっており、「その他の輸送機械（除別掲）」部門以外はアメリカからの誘発の方が大きくなっている。この分野からの誘発は、先に見た自動車分野と比較すると、情報サービス部門への誘発が大きくなっており、アメリカの「二輪自動車・自転車」部門と「船舶・同修理」部門からの誘発は、それぞれ3.4%、2.1%と高い割合を示している。

4.12 精密機械・その他の製造工業製品分野

精密機械・その他の製造工業製品分野の結果を見ていこう（表4-12参照）。まずは、「カメラ・複写機」部門、「医療用機械器具」部門、分析器・試験機・計量器・測定器などの理化学機械器具を製造する「その他の精密機械」部門から成る精密機械分野からの結果を見ていくことにしよう。この分野では、日本からの誘発が4.5～6.8%、アメリカからの誘発が3.0～12.1%となっており、「その他の精密機械」部門以外は日本からの誘発の方が大きくなっている。この分野で注目すべきは、アメリカの「その他の精密機械」部門からの誘発であり、その割合は12.1%と突出して大きくなっている。その内訳を見ていくと、情報サービス部門への誘発が6.7%と高い割合を示しており、ソフトウェア開発や情報処理を行う部門との結びつきが非常に強くなっている。

次に、「玩具・運動用品」部門、「楽器」部門、「情報記録物」部門、「筆記具・文具」部門、「身近細貨品」部門、「武器」部門、「その他の製造工業品」部門から成るその他の製造工業製品分野の結果を確認していくことにしよう。この分野は、日本からの誘発が4.0～9.4%、アメリカからの誘発が3.1～11.3%となっており、「情報記録物」部門と「身近細貨品」部門以外は日本からの誘発の方が大きくなっている。この分野で目を引くのは、オーディオディスクレコードや磁気カードなどを製造する「情報記録物」部門からの誘発の大きさであり、日本は9.4%、アメリカは11.3%とかなり高い割合を示している。その内訳を見ると、日本からの誘発は印刷部門に付加価値が集中してい

るのに対し、アメリカからのそれは、広告部門と情報サービス部門に付加価値が多く流れている。また、このアメリカの部門からの誘発は、新聞部門、出版部門、放送部門、インターネット・サービス部門の割合が他部門よりも大きくなっており、イメージの生産に関連する部門にも付加価値が多く流れている。その他では、日本の「玩具・運動用品」部門と「筆記具・文具」部門から広告部門への誘発が大きくなっており、それぞれ1.6%、1.9%と高い割合を示している。

4.13 建設分野

建設分野の結果を見ていこう（表4-13参照）。この分野はサービス部門に分類されるが、情報部門との関連はそれほど強くなってはいない。

まずは、「住宅新建築」部門、「非住宅新建築」部門、「建設補修」部門から成る建築および補修分野の結果を見ていくことにしよう。この分野では、日本からの誘発が2.6～4.1%、アメリカからの誘発が2.6～3.4%となっており、「建設補修」部門以外はアメリカからの誘発の方が大きくなっている。個別の内容を見ると、日本の「建設補修」部門から通信部門への誘発が2.1%と大きくなっており、情報通信に関わる部門との関連が強くなっている。

次に、土木建設分野に分類される「その他の建設」部門の結果を見ていくことにしよう。この部門からの誘発は、日本からが3.3%、アメリカからが3.0%となっており、両国ともに情報部門との関連はそれほど強くなってはいない。個別の内容を見ると、日本の部門から通信部門への誘発が1.3%と大きくなっている。

4.14 電力・ガス・水道・熱供給・廃棄物処理分野

電力・ガス・水道・熱供給・廃棄物処理分野の結果を確認していくことにしよう（表4-14参照）。この分野からの誘発は、日本からが2.2～7.1%、アメリカからが1.4～3.7%となっており、

「廃棄物処理」部門以外は日本からの誘発が大きくなっている。この分野で目を引くのは、日本の「ガス」部門からの誘発の大きさであり、その割合は7.1%と非常に高い割合を示している。その内訳を見ていくと、広告部門と情報サービス部門への配分が大きくなっており、それぞれ1.2%、2.2%と大きくなっている。その他の部門の結果を見ていくと、この分野では、情報サービス部門と日本の部門との関連が強くなっており、「電力」部門からの誘発が1.5%、「水道・熱供給業」部門からの誘発が3.0%と高い割合を示している。これに対して、アメリカの部門からの誘発は、付加価値配分で特に目立った部門はなく、情報部門との関連は非常に弱くなっている。

4.15 商業分野

商業分野の結果を見ていこう（表4-15参照）。まずは、「卸売」部門の結果から見ていくと、日本からの誘発が4.7%、アメリカからの誘発が5.0%となっており、アメリカの方が0.3ポイントほど高くなっている。個別の内容を見ていくと、日本は通信部門と情報サービス部門への誘発が大きくなっており、情報伝達や情報処理を行う部門との関連が強くなっている。これに対して、アメリカからの誘発は、特に配分が大きくなっている部門はない。

次に、「小売」部門の結果を見ていこう。この部門からの誘発は、日本からが6.5%、アメリカからが4.9%となっており、日米の差は1.6ポイントとやや大きくなっている。個別の内容を見ていくと、日本からは、ここでも通信部門と情報サービス部門への誘発が大きくなっており、ともに1.6%と高い割合を示している。これは、POSシステムの構築などによって情報部門との関連が強くなっていることが考えられる。これに対して、アメリカからの誘発は、付加価値配分において特に目立った部門はない。

4.16 金融・保険・不動産分野

金融・保険・不動産分野の結果を確認していこう（表4-16参照）。まずは、金融・保険分野の結果から見ていくと、「金融」部門では、日本からの誘発が8.9%、アメリカからの誘発が4.9%、「保険」部門では、日本からの誘発が8.2%、アメリカからの誘発が4.1%となっており、2部門ともに日本からの誘発の方が大きくなっている。この分野で目を引くのは、情報サービス部門への日本からの誘発の大きさである。その割合は「金融」部門からが2.4%、「保険」部門からが3.0%となっており、かなり高い割合を示している。また、この金融・保険分野は、インターネット・サービス部門への誘発が他分野に比べてやや大きくなっている。

次に、「不動産業」部門と「住宅賃貸料（帰属家賃）」部門から成る不動産分野の結果を見ていこう。「不動産業」部門では、日本からの誘発が2.4%、アメリカからの誘発が1.2%、「住宅賃貸料（帰属家賃）」部門では、日本からの誘発が0.7%、アメリカからの誘発が1.2%となっており、この分野は日米ともに情報部門との関連が非常に弱くなっている。個別の内容を見ても、付加価値配分において特に目立った部門はない。

4.17 運輸分野

運輸分野の結果を見ていこう（表4-17参照）。まずは、「鉄道」部門、「道路旅客輸送」部門、「道路貨物輸送」部門から成る鉄道・道路輸送分野の結果から確認していくことにしよう。この分野においては、日本からの誘発が1.8~3.2%、アメリカからの誘発が4.0~6.4%となっており、全ての部門でアメリカからの誘発が大きくなっている。個別の内容を見ていくと、この分野では通信部門と情報サービス部門へのアメリカからの誘発が大きくなっているのが特徴となっている。また、アメリカの「道路貨物輸送」部門は、郵便部門との関連が強くなっており、その誘発は3.2%とかなり高い割合を示している。

次に、「水運・同付帯サービス」部門、「航空輸送・同付帯サービス」部門、「その他の運輸付帯サービス」部門から成る水運・空輸・その他の運輸分野の結果を見ていこう。この分野においては、日本からの誘発が2.8～5.3%、アメリカからの誘発が4.4～5.9%となっており、「航空輸送・同付帯サービス」部門以外はアメリカからの誘発が大きくなっている。個別の内容を見ていくと、この分野においては、日米ともに通信部門への誘発が大きくなっている。また、アメリカの「水運・同付帯サービス」部門と「その他の運輸付帯サービス」部門は郵便部門への誘発が大きくなっており、ともに2.1%と高い割合を示している。

続いて「倉庫」部門の結果を見ていこう。この部門からの誘発は、日本からが4.0%、アメリカからが3.3%となっており、日本の方が0.7ポイントほど大きくなっている。この差は通信部門への配分によって生じており、同部門への日本からの誘発は1.6%とかなり大きくなっている。

最後に「旅行代理業」部門の結果を確認していこう。この部門からの誘発は、日本からの誘発が11.0%、アメリカからの誘発が10.0%となっており、両国ともに情報部門との関連が非常に強くなっている。その詳細な内訳を見ていくと、両国ともに印刷部門、通信部門、広告部門、情報サービス部門への誘発が大きくなっている。特に、情報サービス部門への誘発は、日本からが3.3%、アメリカからが2.2%とかなり高い割合を示しており、この部門は、情報システムの開発や情報処理を行う部門との関わりが強くなっていることが伺える。また、それと関連して、インターネット・サービス部門への誘発がやや大きくなっていることも、この部門の特徴となっている。

4.18 サービス分野

サービス業の結果を見ていこう（表4-18参照）。まずは、「公務」部門、「教育」部門から成る公務・教育サービス分野の結果を見ていくと、「公務」部門では、日本からの誘発が3.9%、アメ

リカからの誘発が7.3%、「教育」部門では、日本からの誘発が2.0%、アメリカからの誘発が6.1%となっており、2部門ともにアメリカからの誘発の方が大きくなっている。個別の内容を見ていくと、アメリカの2部門ともに通信部門、研究部門、情報サービス部門への誘発が大きくなっていることがわかる。また、アメリカの「教育」部門は、インターネット・サービス部門への誘発が0.6%と大きくなっており、この誘発割合は全産業部門のなかで最大となっている。これに対して、日本からの誘発は、「公務」部門から情報サービス部門への誘発が1.3%と大きくなっているだけで、全体的に情報部門との関連は弱くなっている。

次に、「医療・保健・介護」部門、「獣医業」部門、「その他非営利団体」部門から成る医療・保険・その他の非営利サービス分野の結果を確認していくことしよう。この分野からの誘発は、日本からが3.1～8.3%、アメリカからが3.3～6.1%となっており、「獣医業」部門以外は日本からの誘発の方が大きくなっている。この分野では、両国ともに「その他非営利団体」部門からの誘発が大きくなっており、その内訳を見ると、通信部門や情報サービス部門に付加価値が多く配分されている。また、日本の「その他非営利団体」部門からの誘発は、印刷部門にも付加価値が多く配分されており、その割合は2.9%とかなり大きくなっている。

続いて「機械器具賃貸業」部門、「貸自動車」部門、「その他の物品賃貸業」部門から成る物品賃貸サービス分野の結果を確認していこう。この分野からの誘発は、日本からが2.6～3.1%、アメリカからが4.3～5.8%となっており、全ての部門でアメリカからの誘発の方が大きくなっている。この分野では、アメリカの3部門ともに通信部門への誘発が大きくなっており、この部門の配分で日米の誘発の差が開いている。

「自動車修理」部門、「その他の修理」部門から成る修理サービス分野の結果を見ていこう。「自動車修理」部門からの誘発は、日本が3.4%、

アメリカが4.4%、「その他の修理」部門からの誘発は、日本が4.0%、アメリカが3.5%となっており、この分野は、日米ともに情報部門との関連がそれほど強くなってはいない。個別の内容を見ていくと、日米の2部門ともに、通信部門への誘発がやや大きくなっている。

さらに「建物サービス」部門、「法務・財務・会計サービス」部門、「その他の対事業所サービス」部門から成るその他の対事業所サービス分野の結果を見ていくことにしよう。この分野からの誘発は、日本からが4.1~5.8%、アメリカからが4.1~5.7%となっており、「建物サービス」部門以外は日本からの誘発の方が大きくなっている。個別の内容を見ていくと、アメリカの「建物サービス」部門と通信部門の関連が強くなっており、その誘発割合は2.5%と高い割合を示している。また、この部門は、インターネット・サービス部門への誘発が他部門よりもやや大きくなっている。その他では、日本の「法務・財務・会計サービス」部門から情報サービス部門に付加価値が多く流れており、その誘発割合は2.2%とかなり大きくなっている。

「映画」部門と「娯楽サービス」部門から成る娯楽サービス分野の結果を見ていこう。「映画」部門では、日本からの誘発が5.6%、アメリカからの誘発が5.1%、「娯楽サービス」部門では、日本からの誘発が5.0%、アメリカからの誘発が4.4%となっており、2部門ともに日本からの誘発の方が大きくなっている。個別の内容を見ていくと、日本の部門から印刷部門への誘発が大きくなっており、この部門の配分によって日米の差が開いている。また、「映画」部門からの誘発は、日米ともに広告部門への誘発が大きくなっている。

最後に、「飲食店」部門、「旅館・その他の宿泊所」部門、「理容・美容業」部門、「その他の対個人サービス」部門から成る飲食・その他の対個人サービス分野の結果を確認していこう。この分野では、日本からの誘発が3.0~4.4%、アメリカか

らの誘発が4.4~7.1%となっており、全ての部門でアメリカからの誘発の方が大きくなっている。この分野で目を引くのは、アメリカの「旅館・その他の宿泊所」部門からの誘発が7.1%とかなり高い割合になっていることである。その詳細を見ると、郵便部門、通信部門、広告部門に付加価値が集中しており、その割合は、それぞれ1.4%、1.2%、1.2%と大きくなっている。日本においては、「飲食店」部門から通信部門への誘発が1.4%と大きくなっている。

5. おわりに

以上、'05日米I-O表を利用して、日米の産業部門から情報部門への付加価値誘発構造を、マクロ、メゾ・マクロの視点から分析してきた。その分析結果を要約すれば、次のようになる。

まず、日米の「財貨部門 (G)」「サービス部門 (S)」「流通部門 (D)」からの付加価値誘発構造に注目し、マクロの視点から「情報部門 (I)」との関連を分析した。この情報部門のマクロ分析によって明らかになったのは、次のようなことであった。

- ・「財貨部門 (G)」では、アメリカの部門からの誘発の方が大きくなっており、「情報部門 (I)」の個別の内容を見ると、日米ともに情報サービス部門との関連が強くなっている。また、日本の部門は、広告部門などの製品のイメージに関わる部門との関連が強くなっているのに対し、アメリカの部門は、製品の研究・開発を行う研究部門との関連が強くなっている。
- ・「サービス部門 (S)」では、アメリカの部門からの誘発の方が大きくなっており、「情報部門 (I)」の個別の内容を見ると、日米ともに通信部門と情報サービス部門への誘発が大きくなっており、情報の伝達や情報システムの構築などを行っている部門との関連が強くなっている。
- ・「流通部門 (S)」では、日米の誘発は同規模となっており、「情報部門 (I)」の個別の内容を見ると、日本の部門は、通信部門と情報サービ

ス部門への誘発が大きくなっており、POSなどの情報システムの構築によって、これらの部門との関連が強くなっていることが伺える。アメリカの部門もこの2部門への誘発が大きくなってはいるが、日本の部門ほど関連は強くなっていない。

次に、日米の各産業部門からの付加価値誘発構造に注目し、メゾ・マクロの視点から、情報部門との関連を分析した。マクロ分析の内容を踏まえ、その主な結果をまとめると、次のようになる。

- ・「財貨部門 (G)」に属する日本の産業部門では、化学・石油・石炭製品分野の「石鹼・合成洗剤・界面活性剤」部門や「化粧品・歯みがき」部門からの誘発が非常に高い割合を示しており、情報部門の配分では、広告部門に付加価値が集中している。また、電気機械分野の産業部門においては、情報サービス分野への誘発が大きくなっている。
- ・「財貨部門 (G)」に属するアメリカの産業部門では、電気機械分野の「民生用電子機器」部門、「電子計算機」部門、「電子計算機付属装置」部門、「その他の電気通信機械」部門、「電気計測器」部門、「磁気テープ・フレキシブルディスク」部門などからの誘発が高い割合を示しており、情報部門の配分では、情報サービス部門への付加価値の偏りが大きくなっている。また、アメリカの化学・石油・石炭製品分野や電気機械分野においては、研究部門への誘発が大きくなっている。
- ・「サービス部門 (S)」に属する日本の産業部門では、電力・ガス・水道・熱供給・廃棄物処理分野の「ガス」部門、「水道・熱供給業」部門、金融・保険・不動産分野の「金融」部門、「保険」部門、サービス分野の「その他非営利団体」部門、「法務・財務・会計サービス」部門などからの誘発が高い割合を示しており、情報部門の内容を見ると、通信部門や情報サービス部門への配分が大きくなっている。
- ・「サービス部門 (S)」に属するアメリカの産業

部門では、サービス分野の「公務」部門、「教育」部門、「その他非営利団体」部門、「その他の物品賃貸業」部門、「建物サービス」部門、「飲食店」部門、「旅館・その他の宿泊所」部門、「その他の対個人サービス」部門などからの誘発が大きくなっており、情報部門の内容を見ると、通信部門や情報サービス部門への配分が大きくなっている。また、他分野と比較すると、サービス分野の産業部門からの誘発は、インターネット・サービス部門への配分がやや大きくなっている。

- ・「流通部門 (D)」に属する日本の産業部門では、商業分野の「小売」部門からの誘発が大きくなっており、情報部門の内容を見ると、通信部門や情報サービス部門への配分が大きくなっている。また、商業分野の「卸売」部門や運輸分野の「航空輸送・同付帯サービス」部門も、通信部門や情報サービス部門との関連が強くなっている。
- ・「流通部門 (D)」に属するアメリカの産業部門では、運輸分野の「道路貨物輸送」部門や「その他の運輸付帯サービス」部門などからの誘発が大きくなっており、情報部門の内容を見ると、郵便部門、通信部門、情報サービス部門への配分が大きくなっている。

以上の分析によって、日米の経済活動のなかで、情報通信活動や研究・開発などを行う情報部門がどのような位置を占めているのかが明らかになった。たとえば、財貨部門から情報部門への付加価値誘発は、日米の生産やマーケティングに対する考えの違いを如実に表していた。アメリカは製品の研究・開発に関連する部門に付加価値が多く配分されていたのに対し、日本は製品のイメージに関連する部門に付加価値が多く配分されていた。かつて、商業経済論は、広告などを中心としたマーケティングの差別化情報によって、商業の社会的な比較評価機能が制限されていることを指摘していたが、日本においては、その状況はあま

り変わっていないようである⁴⁾。この結果は、消費者情報の公共化について再考する契機となるだろう。

マクローメゾ・マクロ次元からの数量的な分析は研究の蓄積が乏しいだけに、ここで明らかになった結果は、マーケティング・ネットワークや消費者情報システムなどの理論研究の発展に寄与することになるだろう。だが、本稿で行った分析は、情報通信関連分野の産業部門を扱うことができなかつたため、情報部門の範囲はかなり狭くなっており、情報部門の分析としては十分なものになっていない⁵⁾。将来、産業連関表の作成において、より細かい部門分類が行われるようになれば、情報通信関連部門と一般の産業部門との境界線が明確になり、より詳細な分析が行えるようになるだろう。

また、今回の分析では、'05 日米 I-O 表から新設された「インターネット・サービス」部門と日米の産業部門との関連は、それほど強くなつてはいなかつた。しかし、クラウド・コンピューティングなどの登場によって、インターネット環境が大きく変化した現在においては、各産業部門と「インターネット・サービス」部門との関連は非常に強くなつていくことが予想される。しかし、産業連関表の作成には膨大な時間がかかるため、このような時系列の変化を捉える分析は、すぐには行うことはできない。新たなデータが公開され、このような時系列分析が行えるようになれば、さらに研究は充実したものになるだろう。これらは、これからの研究課題となる。

注

- 1) 田村正紀（2001）『流通原理』千倉書房、312 ページ。
- 2) 江上哲『現代流通のマクロ分析』ミネルヴァ書房、1996 年、115-118 ページ。江上の分類は、商業マージン表を根拠にしている。
- 3) ストーン方式による処理法については、以下を参照されたい。宮澤健一編（2002）『産業連関分

析入門』日本経済新聞社、77-79 ページ。

- 4) 商業の比較評価機能の低下問題については、商業の「社会性」の位置づけを問う必要がある。詳細な議論については、石原武政（1983）、田村晃二（2002）、江上哲（2003）などの議論を参照されたい。
- 5) 情報部門の定義やその取扱いに関する議論については、以下の文献が詳しい。廣松毅・大平号声（1990）『情報経済のマクロ分析』東洋経済新報社。

参考文献

- 阿部真也（2009）『流通情報革命』ミネルヴァ書房。
- 石原武政（1983）「今なぜ『流通と情報』か」『日本商業学会年報 1983 年度：流通と情報』pp.1-12。
- 江上哲（1996）『現代流通のマクロ分析』ミネルヴァ書房。
- （2003）「マーケティング・チャネルの変容と消費者情報の公共化」阿部真也・藤澤史郎・江上哲・宮崎昭・宇野史郎編著『流通経済から見る現代』ミネルヴァ書房、pp.244-274。
- 木立真直（2003）「IT による流通システムの転換をめぐる展望」阿部真也・藤澤史郎・江上哲・宮崎昭・宇野史郎編著『流通経済から見る現代』ミネルヴァ書房、pp.217-243。
- 宍戸駿太郎監修（2010）『産業連関分析ハンドブック』東洋経済新報社。
- 陶山計介・宮崎昭・藤本寿良編（2002）『マーケティング・ネットワーク論』有斐閣。
- 田村晃二（2002）「情報縮約・斉合の原理と商業者の社会性」『経営研究』第 48 巻第 3 号、pp.171-188。
- 田村正紀（2001）『流通原理』千倉書房。
- 廣松毅・大平号声（1990）『情報経済のマクロ分析』東洋経済新報社。
- 藤川清史（1999）『グローバル経済の産業連関分析』創文社。
- 松本源太郎（2001）『経済のサービス化と産業政策』北海道大学図書刊行会。
- 宮澤健一編（2002）『産業連関分析入門』日本経済新

- 問社.
- 山口重克・福田豊・佐久間英俊編 (2005) 『ITによる流通変容の理論と現状』 御茶の水書房.
- Cox, R. (1965) “*Distribution in High Level Economy*” Prentice-Hall. (森下二次也監訳 (1971) 『高度経済下の流通問題』 中央経済社).
- Porat, M. (1977) “*The Information Economy*” Washington, D. C.: U. S. Department of Commerce (小松崎清介監訳 (1982) 『情報経済入門』 コンピュータ・エージ社).

産業連関表による情報部門のマクロ分析（河田）

表 4-1. 農業・林業・漁業・鉱業分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 発生額				
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%					
穀類	日	1,766	72.3%	452	18.5%	189	7.7%	35	1.4%	1.0	0.1%	2	0.1%	7	0.3%	2	0.1%	1	0.0%	4	0.2%	10	0.4%	1	0.0%	2,443				
	米	10,025	31.2%	17,992	56.0%	3,150	9.8%	960	3.0%	32	0.1%	40	0.1%	91	0.3%	207	0.6%	54	0.2%	87	0.3%	228	0.7%	31	0.1%	32,128				
野菜及びいも 類	日	94,045	77.8%	14,448	12.0%	10,553	8.7%	1,794	1.5%	60	0.0%	266	0.2%	107	0.1%	383	0.3%	97	0.1%	45	0.0%	202	0.2%	534	0.4%	36	0.0%	120,840		
	米	67,971	59.8%	35,834	31.5%	7,506	6.6%	2,424	2.1%	75	0.1%	127	0.1%	212	0.2%	463	0.4%	126	0.1%	345	0.3%	205	0.2%	688	0.6%	87	0.1%	117,375		
果実	日	32,064	75.7%	6,449	15.2%	3,147	7.4%	720	1.7%	23	0.1%	24	0.1%	43	0.1%	142	0.3%	46	0.1%	15	0.0%	79	0.2%	219	0.5%	14	0.0%	42,380		
	米	60,020	61.9%	28,802	29.7%	6,091	6.3%	2,083	2.1%	61	0.1%	103	0.1%	167	0.2%	414	0.4%	104	0.1%	302	0.3%	169	0.2%	608	0.6%	75	0.1%	96,995		
その他の食用 作物	日	1,010	76.7%	165	12.6%	120	9.1%	20	1.6%	1	0.1%	3	0.2%	1	0.1%	4	0.3%	1	0.1%	1	0.1%	2	0.2%	5	0.4%	0	0.0%	1,316		
	米	23,446	47.4%	21,052	42.5%	3,820	7.7%	1,197	2.4%	40	0.1%	66	0.1%	112	0.2%	259	0.5%	68	0.1%	162	0.3%	110	0.2%	291	0.6%	38	0.1%	49,515		
その他の非食 用作物	日	26,653	74.5%	4,222	11.8%	4,096	11.4%	812	2.3%	27	0.1%	106	0.3%	62	0.2%	235	0.7%	42	0.1%	40	0.1%	98	0.3%	161	0.4%	35,783				
	米	100,067	59.9%	51,688	31.0%	11,559	6.9%	3,640	2.2%	113	0.1%	237	0.1%	448	0.1%	736	0.4%	191	0.1%	387	0.2%	311	0.2%	1,039	0.6%	128	0.1%	166,954		
畜産（牛）	日	6,364	65.7%	1,729	17.9%	1,388	14.3%	204	2.1%	7	0.1%	26	0.3%	15	0.2%	43	0.4%	11	0.1%	6	0.1%	25	0.3%	60	0.6%	5	0.0%	9,685		
	米	3,825	51.8%	2,886	35.0%	795	10.8%	181	2.5%	7	0.1%	12	0.2%	8	0.1%	40	0.5%	11	0.2%	18	0.2%	18	0.2%	40	0.5%	5	0.1%	7,388		
養鶏	日	7,438	49.8%	3,669	24.5%	3,446	23.1%	391	2.6%	16	0.1%	47	0.3%	30	0.2%	90	0.6%	23	0.2%	12	0.1%	50	0.3%	102	0.7%	9	0.1%	14,944		
	米	15,418	49.6%	9,234	29.7%	5,447	17.5%	989	3.2%	38	0.1%	62	0.2%	46	0.1%	131	0.4%	201	0.6%	64	0.2%	105	0.3%	212	0.7%	29	0.1%	31,088		
その他の畜産	日	1,812	60.3%	537	17.9%	581	19.3%	76	2.5%	3	0.1%	9	0.3%	6	0.2%	17	0.6%	4	0.1%	3	0.1%	10	0.3%	21	0.7%	2	0.1%	3,007		
	米	29,044	69.3%	9,416	22.5%	2,747	6.6%	692	1.7%	23	0.1%	42	0.1%	78	0.2%	168	0.4%	40	0.1%	66	0.2%	65	0.2%	158	0.4%	22	0.1%	41,899		
林業	日	56,605	89.8%	4,182	6.6%	1,808	2.9%	472	0.7%	22	0.0%	58	0.1%	11	0.0%	135	0.2%	31	0.0%	5	0.0%	52	0.1%	110	0.2%	10	0.0%	63,066		
	米	5,949	67.9%	1,831	20.9%	801	9.1%	176	2.0%	5	0.1%	10	0.1%	6	0.1%	20	0.2%	40	0.5%	9	0.1%	15	0.2%	52	0.6%	7	0.1%	8,757		
漁業	日	79,509	73.1%	11,502	10.6%	15,597	14.3%	2,207	2.0%	82	0.1%	346	0.3%	56	0.1%	145	0.1%	663	0.6%	107	0.1%	33	0.0%	241	0.2%	484	0.4%	50	0.0%	108,815
	米	16,946	72.5%	4,508	19.3%	1,432	6.1%	495	2.1%	14	0.1%	33	0.1%	21	0.1%	84	0.4%	24	0.1%	60	0.3%	38	0.2%	140	0.6%	25	0.1%	23,381		
金属鉱物	日	207	63.4%	81	24.8%	27	8.1%	12	3.7%	0	0.1%	1	0.4%	2	0.5%	3	1.0%	1	0.2%	0	0.1%	1	0.4%	3	0.8%	0	0.1%	327		
	米	45,876	65.9%	17,576	25.2%	3,603	5.2%	2,607	3.7%	73	0.1%	111	0.1%	168	0.2%	391	0.6%	123	0.2%	118	0.2%	201	0.3%	1,273	1.8%	65	0.1%	69,661		
砂利・砕石・ 蒸炭原料鉱物	日	1,833	52.0%	1,137	32.3%	425	12.1%	129	3.7%	6	0.2%	17	0.5%	9	0.3%	32	0.9%	8	0.2%	2	0.0%	19	0.5%	28	0.8%	3	0.1%	3,524		
	米	3,729	68.6%	1,234	22.7%	309	5.7%	166	3.1%	6	0.1%	8	0.2%	7	0.1%	37	0.7%	10	0.2%	24	0.4%	16	0.3%	37	0.7%	6	0.1%	5,439		
その他の非金 属鉱物	日	1,000	68.4%	271	18.6%	134	9.2%	56	3.8%	3	0.2%	7	0.5%	2	0.1%	10	0.7%	5	0.3%	2	0.2%	12	0.8%	11	0.8%	2	0.1%	1,461		
	米	703	67.2%	242	23.1%	76	7.2%	27	2.6%	1	0.1%	1	0.1%	4	0.4%	7	0.6%	1	0.1%	1	0.1%	2	0.2%	7	0.7%	1	0.1%	1,048		

（単位：10万ドル、%）

表 4-2. 食料品・飲料・飼料・たばこ分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞	印刷	出版	郵便	通信	放送	研究	広告	情報サービス		インターネットサービス		付加価値 増進率							
		額	%	額	%	額	%	額	%									額	%	額	%		額	%	額	%			
肉・肉製品	日	70,394	56.0%	22,061	18.0%	28,061	22.3%	4,629	3.7%	179	0.1%	1,180	0.9%	843	0.7%	281	0.2%	106	0.1%	670	0.5%	912	0.7%	96	0.1%	125,745			
	米	406,151	54.9%	211,662	28.6%	92,178	12.5%	29,393	4.0%	1,297	0.2%	1,767	0.2%	2,666	0.4%	5,959	0.8%	2,162	0.3%	2,772	0.4%	3,568	0.5%	6,850	0.9%	739,383			
酪農品	日	54,664	61.5%	15,381	17.3%	15,310	17.2%	3,586	4.0%	148	0.2%	1,073	1.2%	166	0.2%	519	0.6%	220	0.2%	91	0.1%	545	0.6%	672	0.8%	88,940			
	米	173,139	53.3%	93,034	28.6%	46,412	14.3%	12,277	3.8%	595	0.2%	816	0.3%	632	0.2%	1,190	0.4%	2,333	0.7%	986	0.3%	1,137	0.3%	1,638	0.5%	324,861			
水産食料品	日	69,380	64.6%	14,332	13.3%	19,854	18.5%	3,900	3.6%	157	0.1%	1,178	1.1%	194	0.2%	734	0.7%	218	0.2%	47	0.0%	531	0.5%	672	0.6%	107,466			
	米	7,746	51.0%	4,383	28.9%	2,218	14.6%	839	5.5%	47	0.3%	54	0.4%	52	0.3%	156	1.0%	77	0.5%	69	0.4%	128	0.8%	184	1.2%	15,186			
精穀・製粉	日	91,261	62.5%	26,557	18.2%	34,962	17.1%	3,326	2.3%	105	0.1%	876	0.6%	91	0.1%	718	0.5%	143	0.1%	66	0.0%	321	0.2%	753	0.5%	146,107			
	米	6,365	28.6%	8,481	38.1%	6,498	29.2%	890	4.0%	41	0.2%	61	0.3%	103	0.5%	174	0.8%	68	0.3%	78	0.3%	112	0.5%	187	0.8%	24,011			
パン・菓子類	日	215,663	65.7%	46,782	14.3%	49,211	15.0%	16,384	5.0%	923	0.3%	4,638	1.4%	485	0.1%	1,982	0.6%	1,509	0.5%	199	0.1%	3,843	1.2%	2,015	0.6%	335	0.1%	328,040	
	米	457,259	59.1%	195,071	25.3%	84,691	11.0%	35,807	4.6%	1,953	0.3%	2,318	0.3%	2,009	0.3%	6,624	0.9%	3,218	0.4%	3,538	0.5%	5,374	0.7%	7,570	1.0%	1,151	0.1%	773,419	
その他の農産品	日	23,443	62.8%	5,849	15.7%	6,695	17.9%	1,363	3.6%	63	0.2%	341	0.9%	55	0.1%	261	0.7%	86	0.2%	25	0.1%	205	0.5%	261	0.7%	31	0.1%	37,349	
	米	189,179	57.8%	74,860	22.9%	48,253	14.7%	15,113	4.6%	794	0.2%	1,620	0.5%	1,101	0.3%	2,464	0.8%	1,304	0.4%	1,379	0.4%	2,185	0.7%	3,016	0.9%	452	0.1%	327,405	
砂糖	日	1,665	65.4%	412	16.2%	406	15.9%	65	2.5%	2	0.1%	11	0.4%	4	0.2%	13	0.5%	3	0.1%	2	0.1%	8	0.3%	19	0.7%	1	0.0%	2,548	
	米	8,742	52.3%	5,322	31.8%	2,037	12.2%	624	3.7%	27	0.2%	34	0.2%	56	0.3%	123	0.7%	45	0.3%	63	0.4%	73	0.4%	188	0.9%	17	0.1%	16,725	
植物油類	日	2,607	48.0%	1,372	25.3%	1,194	22.0%	256	4.7%	11	0.2%	51	0.9%	14	0.2%	44	0.8%	18	0.3%	10	0.2%	44	0.8%	50	0.9%	6	0.1%	5,428	
	米	9,704	43.5%	8,494	38.1%	3,408	15.3%	705	3.2%	26	0.1%	41	0.2%	80	0.4%	145	0.6%	43	0.2%	74	0.3%	71	0.3%	173	0.8%	22	0.1%	22,310	
調味料	日	46,204	63.8%	11,361	16.2%	8,962	12.8%	3,723	5.3%	213	0.3%	876	1.2%	120	0.2%	442	0.6%	364	0.5%	67	0.1%	933	1.3%	517	0.7%	80	0.1%	70,252	
	米	34,202	53.9%	17,917	28.2%	7,392	11.6%	4,002	6.3%	263	0.4%	269	0.4%	256	0.4%	201	0.3%	625	1.0%	430	0.7%	315	0.5%	725	1.1%	790	1.2%	127	0.2%
その他の食料品	日	167,297	60.1%	45,599	16.4%	54,123	19.4%	11,431	4.1%	473	0.2%	3,751	1.3%	456	0.2%	1,883	0.7%	575	0.2%	213	0.1%	1,393	0.5%	2,225	0.8%	212	0.1%	278,450	
	米	148,583	58.4%	66,902	26.1%	30,135	11.8%	9,334	3.7%	445	0.2%	569	0.2%	729	0.3%	1,710	0.7%	737	0.3%	974	0.4%	1,225	0.5%	2,189	0.9%	289	0.1%	254,554	
酒類	日	147,068	78.8%	18,201	9.7%	14,002	7.5%	7,472	4.0%	506	0.3%	883	0.5%	213	0.1%	807	0.4%	943	0.5%	64	0.0%	2,443	1.3%	1,169	0.6%	186	0.1%	186,744	
	米	231,684	71.2%	49,946	15.4%	32,643	10.9%	11,042	3.4%	574	0.2%	826	0.3%	581	0.2%	724	0.2%	1,800	0.6%	944	0.3%	1,633	0.5%	1,581	0.5%	2,069	0.6%	310	0.1%
茶・コーヒー	日	23,185	65.5%	5,163	14.6%	5,462	15.4%	1,592	4.5%	76	0.2%	397	1.1%	62	0.2%	234	0.7%	125	0.4%	19	0.1%	315	0.9%	288	0.8%	32	0.1%	35,402	
	米	11,859	51.6%	5,434	23.6%	4,356	18.9%	1,347	5.9%	81	0.4%	89	0.4%	79	0.3%	98	0.4%	228	1.0%	132	0.6%	111	0.5%	222	1.0%	264	1.1%	22,996	
清涼飲料/製氷	日	171,980	70.5%	29,843	12.2%	31,201	12.8%	11,036	4.5%	707	0.3%	1,793	0.7%	330	0.1%	1,319	0.5%	1,210	0.5%	164	0.1%	3,107	1.3%	1,799	0.7%	243	0.1%	244,062	
	米	133,984	56.7%	56,837	24.0%	32,599	13.8%	13,045	5.5%	688	0.3%	796	0.3%	785	0.3%	2,215	0.9%	1,132	0.5%	1,963	0.8%	1,895	0.8%	2,477	1.0%	385	0.2%	236,466	
飼料	日	3,506	48.0%	1,612	22.1%	1,932	26.5%	249	3.4%	10	0.1%	30	0.4%	20	0.3%	54	0.7%	15	0.2%	10	0.1%	34	0.5%	62	0.8%	6	0.1%	7,300	
	米	64,424	50.5%	36,470	28.6%	21,710	17.0%	4,916	3.9%	229	0.2%	310	0.2%	241	0.2%	465	0.4%	938	0.7%	381	0.3%	544	0.4%	632	0.5%	1,029	0.8%	148	0.1%
たばこ	日	175,569	89.8%	10,209	5.2%	4,628	2.4%	5,177	2.6%	346	0.2%	540	0.3%	105	0.1%	374	0.2%	674	0.3%	696	0.4%	1,728	0.9%	434	0.2%	108	0.1%	195,582	
	米	380,339	91.0%	19,452	4.7%	13,276	3.2%	4,912	1.2%	206	0.0%	417	0.1%	310	0.1%	749	0.2%	339	0.1%	956	0.2%	565	0.1%	1,032	0.2%	124	0.0%	417,978	

(単位：10万ドル、%)

表 4-3. 繊維製品分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞	印刷	出版	郵便		通信		放送	研究	広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 増発率			
		額	%	額	%	額	%	額	%				額	%	額	%			額	%	額	%	額	%		額	%	額
製糸・紡績	日	575	59.9%	191	19.9%	159	16.6%	35	3.6%	2	0.2%	2	0.2%	2	0.2%	8	0.8%	2	0.2%	1	0.1%	5	0.5%	7	0.7%	1	0.1%	960
	米	2,595	41.5%	2,231	35.6%	996	15.9%	438	7.0%	15	0.2%	17	0.3%	24	0.4%	87	1.4%	26	0.4%	109	1.7%	42	0.7%	84	1.3%	13	0.2%	6,200
織物・染色整理	日	14,561	62.0%	5,235	22.3%	3,807	11.9%	896	3.8%	55	0.2%	53	0.1%	58	0.2%	181	0.8%	52	0.2%	39	0.2%	128	0.5%	176	0.7%	20	0.1%	23,500
	米	19,968	61.4%	7,518	23.1%	2,719	11.4%	1,316	4.0%	13	0.0%	62	0.2%	92	0.3%	250	0.8%	97	0.3%	182	0.6%	160	0.5%	297	0.9%	39	0.1%	32,521
ニット生地	日	1,942	64.4%	520	17.2%	468	15.5%	87	2.9%	4	0.1%	3	0.1%	5	0.2%	21	0.7%	5	0.2%	4	0.1%	11	0.4%	19	0.6%	2	0.1%	3,017
	米	2,096	49.4%	1,343	31.7%	569	13.4%	231	5.5%	11	0.2%	13	0.3%	16	0.4%	42	1.0%	17	0.4%	32	0.8%	29	0.7%	53	1.3%	6	0.1%	4,239
床敷物	日	4,391	55.6%	1,415	17.9%	1,415	17.9%	400	5.1%	23	0.3%	18	0.3%	81	1.0%	23	0.3%	10	0.1%	58	0.7%	96	1.2%	96	1.2%	9	0.1%	7,901
	米	67,864	65.2%	18,878	18.1%	13,130	12.6%	4,245	4.1%	162	0.2%	183	0.2%	312	0.3%	696	0.7%	268	0.3%	1,024	1.0%	445	0.4%	822	0.8%	117	0.1%	104,100
その他の繊維工業製品	日	25,304	63.7%	7,407	13.9%	5,507	13.9%	1,489	3.8%	88	0.2%	66	0.2%	297	0.3%	300	0.8%	79	0.2%	57	0.1%	192	0.5%	335	0.8%	32	0.1%	39,707
	米	70,272	65.6%	20,417	19.1%	11,856	11.1%	4,581	4.3%	217	0.2%	220	0.2%	297	0.3%	816	0.8%	359	0.3%	684	0.6%	598	0.6%	1,000	0.9%	131	0.1%	107,125
衣服・身用品	日	16,519	59.7%	5,672	20.5%	4,220	15.3%	1,261	4.6%	82	0.3%	27	0.1%	106	0.4%	233	0.8%	72	0.3%	29	0.1%	176	0.6%	212	0.8%	31	0.1%	27,669
	米	112,666	61.4%	44,474	24.2%	17,782	9.7%	8,688	4.7%	397	0.2%	1,026	0.6%	465	0.3%	1,468	0.8%	656	0.4%	1,374	0.7%	1,092	0.6%	1,559	0.8%	234	0.1%	183,610

産業連関表による情報部門のマクロ分析（河田）

表 4-4. パルプ・紙・木製品分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞	印刷	出版	郵便		通信		放送	研究	広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 増発率			
		額	%	額	%	額	%	額	%				額	%	額	%			額	%	額	%	額	%		額	%	額
製材・チップ	日	1,111	73.5%	174	11.5%	202	13.4%	25	1.6%	1	0.1%	1	0.0%	2	0.1%	7	0.5%	1	0.1%	0	0.0%	3	0.2%	6	0.4%	1	0.0%	1,512
	米	11,677	63.8%	4,055	22.2%	2,029	11.1%	538	2.9%	19	0.1%	21	0.1%	53	0.3%	126	0.7%	32	0.2%	43	0.2%	52	0.3%	143	0.8%	21	0.1%	18,298
合板	日	968	67.3%	211	14.7%	222	15.5%	36	2.5%	2	0.1%	1	0.1%	2	0.1%	8	0.6%	2	0.1%	1	0.1%	5	0.3%	8	0.6%	1	0.1%	1,438
	米	4,125	69.5%	1,078	18.2%	577	9.7%	157	2.6%	6	0.1%	7	0.1%	15	0.2%	30	0.5%	11	0.2%	18	0.3%	18	0.3%	39	0.7%	5	0.1%	5,937
その他の木製品	日	2,984	68.4%	656	15.0%	604	13.8%	119	2.7%	6	0.1%	3	0.1%	8	0.2%	26	0.6%	8	0.2%	2	0.0%	18	0.4%	30	0.7%	3	0.1%	4,363
	米	49,507	62.2%	17,461	21.9%	9,259	11.6%	3,421	4.3%	161	0.2%	225	0.3%	233	0.3%	654	0.8%	268	0.3%	328	0.4%	444	0.6%	838	1.1%	106	0.1%	79,648
家具・装飾品・建具	日	18,574	63.9%	4,591	15.8%	4,639	16.0%	1,266	4.4%	57	0.2%	44	0.2%	62	0.2%	232	0.8%	86	0.3%	25	0.1%	216	0.7%	286	1.0%	31	0.1%	29,070
	米	324,087	62.7%	107,393	20.8%	58,936	11.4%	26,126	5.1%	1,343	0.3%	1,439	0.3%	1,436	0.3%	5,254	1.0%	2,224	0.4%	2,290	0.4%	3,695	0.7%	6,307	1.2%	811	0.2%	516,541
パルプ	日	145	38.2%	114	29.9%	106	27.8%	16	4.1%	1	0.1%	1	0.1%	1	0.3%	4	0.9%	1	0.2%	1	0.2%	2	0.5%	4	1.1%	0	0.1%	380
	米	14,462	62.3%	5,604	24.1%	2,421	10.4%	727	3.1%	28	0.1%	31	0.1%	63	0.3%	149	0.6%	47	0.2%	83	0.4%	77	0.3%	185	0.8%	25	0.1%	23,214
紙・加工紙	日	8,801	54.6%	3,559	22.1%	3,090	19.2%	654	4.1%	30	0.2%	22	0.1%	34	0.2%	128	0.8%	49	0.3%	25	0.2%	121	0.8%	155	1.0%	14	0.1%	16,104
	米	105,548	66.9%	31,042	19.7%	16,062	10.2%	5,042	3.2%	234	0.1%	294	0.2%	383	0.2%	925	0.6%	387	0.2%	594	0.4%	643	0.4%	1,183	0.8%	159	0.1%	157,694
紙製容器	日	1,230	61.9%	342	17.2%	339	17.1%	76	3.8%	4	0.2%	3	0.2%	4	0.2%	14	0.7%	5	0.3%	2	0.1%	12	0.6%	16	0.8%	2	0.1%	1,987
	米	15,184	61.1%	5,076	20.4%	3,568	14.4%	1,025	4.1%	46	0.2%	58	0.2%	74	0.3%	202	0.8%	76	0.3%	109	0.4%	126	0.5%	255	1.0%	33	0.1%	24,853
その他の紙加工品	日	11,607	60.4%	2,965	15.4%	3,254	16.9%	1,380	7.2%	63	0.3%	37	0.2%	42	0.2%	152	0.8%	104	0.5%	14	0.1%	267	1.4%	144	0.8%	23	0.1%	19,207
	米	39,921	71.0%	8,689	15.4%	5,923	10.5%	1,725	3.1%	78	0.1%	80	0.1%	129	0.2%	327	0.6%	129	0.2%	195	0.3%	214	0.4%	420	0.7%	53	0.1%	56,258

表4-5. 化学・石油・石炭製品分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 増進率	
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%		
無機化学基礎 製品	日	11,402,563%	5,624,279%	2,334,116%	32.02%	129,046%	35.02%	54	0.3%	152	0.8%	45	0.2%	70	0.3%	109	0.5%	188	0.9%	188	0.9%	16	0.1%	20,190	16.01%	188	0.9%	16	0.1%	20,190	16.01%
	米	45,387,556%	24,835,304%	6,802,833%	137.02%	186,022%	152.02%	263	0.3%	704	0.9%	230	0.3%	1,513	1.9%	377	0.5%	975	1.2%	975	1.2%	110	0.1%	81,673	61.67%	975	1.2%	110	0.1%	81,673	61.67%
石油化学製品	日	6,965,663%	1,963,187%	1,260,120%	10.01%	48	0.0%	10	0.1%	25	0.2%	67	0.6%	14	0.1%	33	0.3%	86	0.8%	86	0.8%	7	0.1%	10,508	7.84%	86	0.8%	7	0.1%	10,508	7.84%
	米	16,426,472%	11,933,343%	4,326,124%	40.01%	70	0.2%	52	0.1%	124	0.4%	221	0.6%	67	0.2%	1,048	3.0%	109	0.3%	382	1.1%	41	0.1%	34,838	26.38%	382	1.1%	41	0.1%	34,838	26.38%
有機化学製品	日	48,211,578%	19,209,230%	12,673,152%	111.01%	484	0.6%	222	0.3%	664	0.8%	160	0.2%	225	0.3%	378	0.5%	884	1.1%	884	1.1%	66	0.1%	83,411	63.41%	884	1.1%	66	0.1%	83,411	63.41%
	米	87,272,493%	54,176,306%	23,811,135%	309.02%	449	0.3%	692	0.4%	1,573	0.9%	516	0.3%	4,703	2.7%	848	0.5%	2,010	1.1%	2,010	1.1%	251	0.1%	176,964	134.96%	2,010	1.1%	251	0.1%	176,964	134.96%
肥料	日	2,854,652%	766,175%	586,134%	6.01%	26	0.6%	17	0.4%	10	0.2%	29	0.7%	9	0.2%	11	0.2%	38	0.9%	38	0.9%	3	0.1%	4,375	3.37%	38	0.9%	3	0.1%	4,375	3.37%
	米	8,433,434%	6,923,356%	2,973,153%	32.02%	46	0.2%	36	0.2%	123	0.6%	173	0.9%	54	0.3%	330	1.7%	88	0.5%	205	1.1%	27	0.1%	19,444	14.74%	88	0.5%	27	0.1%	19,444	14.74%
農薬	日	3,068,567%	1,355,250%	689,127%	9.02%	100	1.9%	10	0.2%	15	0.3%	47	0.9%	13	0.2%	16	0.3%	32	0.6%	32	0.6%	5	0.1%	5,413	4.13%	32	0.6%	5	0.1%	5,413	4.13%
	米	32,514,694%	7,718,165%	3,715,799%	79.02%	125	0.3%	86	0.2%	90	0.2%	305	0.7%	130	0.3%	1,426	3.0%	217	0.5%	371	0.8%	51	0.1%	46,828	35.62%	371	0.8%	51	0.1%	46,828	35.62%
合成樹脂	日	29,693,595%	10,944,219%	7,129,143%	71.01%	305	0.6%	79	0.2%	143	0.3%	422	0.8%	102	0.2%	155	0.3%	242	0.5%	551	1.1%	41	0.1%	49,876	37.87%	551	1.1%	41	0.1%	49,876	37.87%
	米	70,232,523%	36,961,275%	17,089,127%	258.02%	367	0.3%	294	0.2%	428	0.3%	1,129	0.8%	428	0.3%	4,719	3.5%	709	0.5%	1,395	1.0%	190	0.1%	134,200	101.20%	1,395	1.0%	190	0.1%	134,200	101.20%
化学繊維	日	5,121,597%	1,953,227%	1,145,133%	15.02%	63	0.7%	13	0.1%	21	0.2%	71	0.8%	21	0.2%	22	0.3%	50	0.6%	50	0.6%	7	0.1%	8,583	6.58%	50	0.6%	7	0.1%	8,583	6.58%
	米	10,533,654%	3,351,208%	1,281,809%	29.02%	38	0.2%	33	0.2%	36	0.2%	111	0.7%	47	0.3%	396	2.5%	79	0.5%	148	0.9%	20	0.1%	16,101	12.10%	148	0.9%	20	0.1%	16,101	12.10%
医薬品	日	33,166,636%	8,571,164%	4,902,943%	238.03%	594	1.1%	232	0.4%	191	0.4%	1,277	2.4%	419	0.8%	477	0.9%	1,088	2.1%	869	1.7%	150	0.3%	52,176	39.17%	1,088	2.1%	150	0.3%	52,176	39.17%
	米	603,061,723%	110,298,132%	60,943,733%	2,587.03%	3,718	0.4%	1,343	0.2%	5,722	0.7%	4,220	0.5%	24,787	3.0%	7,131	0.9%	6,630	0.8%	7,131	0.9%	1,143	0.1%	834,155	634.15%	6,630	0.8%	1,143	0.1%	834,155	634.15%
石鹸・合成洗剤 ・界面活性剤	日	10,287,551%	3,483,187%	2,707,145%	164.09%	293	1.6%	94	0.5%	66	0.4%	215	1.2%	302	1.6%	59	0.3%	79	0.4%	163	0.9%	52	0.3%	18,677	14.27%	163	0.9%	52	0.3%	18,677	14.27%
	米	129,019,711%	23,336,129%	18,651,103%	295.02%	753	0.4%	314	0.2%	345	0.2%	1,035	0.6%	487	0.3%	4,873	2.7%	815	0.4%	1,244	0.7%	178	0.1%	181,346	139.34%	815	0.4%	178	0.1%	181,346	139.34%
化粧品・櫛み がき	日	60,168,529%	21,805,192%	13,347,117%	1,465.13%	2,703	2.4%	764	0.7%	345	0.3%	1,242	1.1%	2,771	2.4%	326	0.3%	7,287	6.4%	1,195	1.0%	424	0.4%	113,842	86.84%	7,287	6.4%	424	0.4%	113,842	86.84%
	米	199,246,704%	42,089,149%	20,931,743%	1,097.04%	1,080	0.4%	1,084	0.4%	516	0.2%	2,050	0.7%	1,781	0.6%	7,208	2.5%	3,021	1.1%	2,340	0.8%	441	0.2%	292,883	222.88%	3,021	1.1%	441	0.2%	292,883	222.88%
染料・印刷イ ンキ	日	7,009,568%	2,497,202%	2,192,178%	25.02%	149	1.2%	34	0.3%	114	0.9%	35	0.3%	41	0.3%	86	0.7%	126	1.0%	126	1.0%	12	0.1%	12,345	9.34%	126	1.0%	12	0.1%	12,345	9.34%
	米	12,044,585%	4,812,234%	2,109,102%	61.03%	61	0.3%	53	0.3%	61	0.3%	194	0.9%	81	0.4%	708	3.4%	134	0.7%	260	1.3%	32	0.2%	20,598	15.59%	260	1.3%	32	0.2%	20,598	15.59%
その他の化学 製品	日	45,331,603%	13,631,181%	11,671,155%	230.03%	949	1.3%	161	0.2%	197	0.3%	636	0.8%	380	0.5%	204	0.3%	968	1.3%	764	1.0%	91	0.1%	75,214	57.21%	968	1.3%	91	0.1%	75,214	57.21%
	米	35,799,590%	13,943,250%	5,757,955%	145.02%	185	0.3%	154	0.3%	572	0.9%	239	0.4%	2,413	4.0%	397	0.7%	774	1.3%	477	0.2%	56	0.0%	201,139	151.13%	774	1.3%	56	0.0%	201,139	151.13%
石油・石炭製 品	日	171,473,853%	13,080,655%	14,449,725%	73.00%	253	0.1%	61	0.0%	222	0.1%	602	0.3%	107	0.1%	46	0.0%	240	0.1%	477	0.2%	1,001	0.1%	681,977	511.97%	477	0.2%	1,001	0.1%	681,977	511.97%
	米	390,043,572%	203,405,298%	57,825,855%	1,004.01%	1,576	0.2%	1,155	0.2%	2,738	0.4%	5,696	0.8%	1,689	0.2%	4,558	0.7%	2,757	0.4%	8,524	1.2%	8,524	1.2%	1,001	0.1%	8,524	1.2%	1,001	0.1%	8,524	1.2%

(単位：10万ドル、%)

産業連関表による情報部門のマクロ分析（河田）

表 4-6. プラスチック・ゴム・革製品分野

産業部門	国	財貨部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 発生総額
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	
プラスチック 製品	日	67,039	63.1%	18,543	17.4%	16,737	15.7%	3,968	3.7%	165	0.2%	505	0.5%	147	0.1%	253	0.2%	821	0.8%	244	0.2%	193	0.2%	589	0.6%	951	0.9%	100	0.1%	106,287
	米	107,933	63.9%	37,716	22.3%	15,606	9.2%	7,729	4.6%	293	0.2%	372	0.2%	315	0.2%	1,367	0.8%	489	0.3%	1,891	1.1%	807	0.5%	1,584	0.9%	225	0.1%	168,983		
ゴム製品	日	34,603	66.9%	8,647	16.7%	6,397	12.4%	2,092	4.0%	91	0.2%	278	0.5%	108	0.2%	187	0.4%	408	0.8%	129	0.2%	77	0.1%	320	0.6%	448	0.9%	45	0.1%	51,739
	米	54,041	65.9%	17,065	20.8%	7,441	9.1%	3,466	4.2%	135	0.2%	171	0.2%	146	0.2%	188	0.2%	734	0.9%	227	0.3%	531	0.6%	371	0.5%	880	1.0%	113	0.1%	81,953
鞆き物	日	11,081	64.1%	2,627	15.2%	2,967	17.2%	619	3.6%	44	0.3%	33	0.2%	33	0.2%	35	0.2%	131	0.8%	43	0.2%	17	0.1%	101	0.6%	123	0.7%	14	0.1%	17,294
	米	9,522	67.8%	2,441	17.4%	1,405	10.0%	678	4.8%	34	0.2%	36	0.2%	32	0.2%	110	0.8%	55	0.4%	143	1.0%	92	0.7%	127	0.9%	15	0.1%	14,046		
製革・毛皮	日	430	59.0%	141	19.4%	135	18.5%	22	3.0%	3	0.4%	1	0.1%	1	0.1%	6	0.8%	1	0.2%	6	0.8%	0	0.0%	2	0.3%	6	0.8%	1	0.1%	728
	米	5,441	51.1%	3,142	29.5%	1,625	15.3%	439	4.1%	16	0.1%	24	0.2%	18	0.2%	42	0.4%	84	0.8%	27	0.3%	76	0.7%	44	0.4%	98	0.9%	12	0.1%	10,647
その他の革製 品	日	3,422	64.7%	752	14.2%	911	17.2%	204	3.9%	15	0.3%	34	0.6%	9	0.2%	10	0.2%	39	0.7%	15	0.3%	3	0.1%	37	0.7%	37	0.7%	5	0.1%	5,846
	米	10,600	66.9%	3,253	20.5%	1,109	7.0%	885	5.6%	46	0.3%	47	0.3%	46	0.3%	32	0.2%	137	0.9%	76	0.5%	158	1.0%	128	0.8%	189	1.2%	25	0.2%	15,200

表 4-7. 窯業・土石製品分野

産業部門	国	財貨部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 発生総額
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	
ガラス・ガラ ス製品	日	20,717	67.3%	5,557	18.1%	3,311	10.8%	1,194	3.9%	44	0.1%	294	1.0%	50	0.2%	68	0.2%	219	0.7%	54	0.2%	42	0.1%	128	0.4%	273	0.9%	23	0.1%	30,779
	米	31,988	67.2%	9,621	20.2%	4,337	9.1%	1,647	3.5%	69	0.1%	89	0.2%	73	0.2%	106	0.2%	313	0.7%	115	0.2%	226	0.5%	190	0.4%	414	0.9%	50	0.1%	47,593
セメント	日	901	53.7%	505	30.1%	202	12.0%	69	4.1%	3	0.2%	10	0.6%	3	0.2%	5	0.3%	15	0.9%	4	0.2%	2	0.1%	10	0.6%	16	0.9%	2	0.1%	1,677
	米	758	65.3%	299	25.7%	73	6.3%	32	2.8%	1	0.1%	2	0.1%	1	0.1%	2	0.2%	6	0.5%	2	0.2%	4	0.3%	4	0.3%	8	0.7%	1	0.1%	1,162
生コンクリート	日	73	58.2%	28	22.2%	21	16.5%	4	3.1%	0	0.1%	1	0.4%	0	0.2%	0	0.2%	1	0.7%	0	0.2%	0	0.1%	1	0.4%	1	0.7%	0	0.1%	126
	米	155	61.3%	55	21.6%	33	13.0%	10	4.1%	0	0.1%	0	0.2%	0	0.2%	1	0.5%	2	0.9%	1	0.4%	1	0.4%	2	0.9%	2	0.9%	0	0.1%	253
セメント製品及び 建設用土石製品	日	1,889	66.3%	579	20.3%	294	10.3%	88	3.1%	4	0.1%	12	0.4%	4	0.1%	6	0.2%	19	0.7%	5	0.2%	2	0.1%	12	0.4%	23	0.8%	2	0.1%	2,851
	米	4,718	67.6%	1,402	20.1%	605	8.7%	253	3.6%	11	0.2%	14	0.2%	12	0.2%	20	0.3%	52	0.7%	19	0.3%	30	0.4%	31	0.4%	57	0.8%	8	0.1%	6,978
陶磁器	日	7,220	65.7%	1,906	17.4%	1,372	12.5%	485	4.4%	25	0.2%	69	0.6%	26	0.2%	25	0.2%	80	0.7%	31	0.3%	21	0.2%	76	0.7%	123	1.1%	10	0.1%	10,983
	米	4,291	71.5%	1,105	18.4%	375	6.3%	233	3.9%	12	0.2%	13	0.2%	12	0.2%	10	0.2%	42	0.7%	19	0.3%	35	0.6%	32	0.5%	51	0.9%	6	0.1%	6,004
炭素・黒鉛製 品	日	4,270	59.4%	1,767	24.6%	844	11.7%	306	4.3%	12	0.2%	46	0.6%	22	0.3%	27	0.4%	57	0.8%	16	0.2%	14	0.2%	38	0.5%	68	0.9%	6	0.1%	7,187
	米	2,801	68.3%	756	18.4%	410	10.0%	137	3.3%	6	0.1%	7	0.2%	6	0.1%	13	0.3%	27	0.7%	10	0.2%	22	0.5%	16	0.4%	27	0.7%	4	0.1%	4,104
その他の窯業 ・土石製品	日	13,108	65.2%	3,701	18.4%	2,581	12.8%	710	3.5%	31	0.2%	97	0.5%	33	0.2%	40	0.2%	141	0.7%	37	0.2%	16	0.1%	90	0.4%	210	1.0%	14	0.1%	20,100
	米	15,626	67.8%	4,538	19.7%	2,022	8.8%	845	3.7%	35	0.2%	43	0.2%	36	0.2%	67	0.3%	162	0.7%	58	0.3%	106	0.5%	95	0.4%	219	1.0%	24	0.1%	23,030

表 4-8. 鉄鋼・非鉄金属・金属製品分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 誘発総額		
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%			
鉄鋼・同一次 製品	日	131,433	66.0%	34,483	17.3%	27,738	13.9%	5,516	2.8%	5,516	2.8%	219	0.1%	728	0.4%	176	0.1%	343	0.2%	1,228	0.6%	308	0.2%	165	0.1%	724	0.4%	1,504	0.8%	121	0.1%	199,170
	米	44,862	56.8%	20,142	25.5%	11,332	14.3%	2,675	3.4%	2,675	3.4%	116	0.1%	163	0.2%	128	0.2%	246	0.3%	543	0.7%	191	0.2%	215	0.3%	316	0.4%	676	0.9%	84	0.1%	79,012
鋼・伸銅品	日	5,864	52.8%	2,592	23.3%	2,213	19.9%	444	4.0%	444	4.0%	13	0.1%	47	0.4%	10	0.1%	37	0.3%	115	1.0%	20	0.2%	9	0.1%	44	0.4%	136	1.2%	12	0.1%	11,113
	米	8,368	55.5%	3,575	23.7%	2,457	17.0%	574	3.8%	574	3.8%	24	0.2%	34	0.2%	27	0.2%	49	0.3%	120	0.8%	40	0.3%	41	0.3%	66	0.4%	155	1.0%	19	0.1%	15,075
アルミニウム ・同圧延製品	日	4,348	50.0%	1,833	21.1%	2,155	24.8%	353	4.1%	353	4.1%	13	0.2%	48	0.5%	12	0.1%	21	0.2%	81	0.9%	20	0.2%	8	0.1%	47	0.5%	95	1.1%	9	0.1%	8,689
	米	14,223	58.9%	5,360	22.2%	3,746	15.5%	824	3.4%	824	3.4%	35	0.1%	49	0.2%	17	0.2%	100	0.4%	157	0.7%	59	0.2%	79	0.3%	97	0.4%	187	0.8%	24	0.1%	24,153
電線・ケーブル	日	8,556	61.1%	2,674	19.1%	2,227	15.9%	549	3.9%	549	3.9%	18	0.1%	73	0.5%	17	0.1%	37	0.3%	138	1.0%	27	0.2%	21	0.1%	64	0.5%	141	1.0%	14	0.1%	14,005
	米	9,256	63.6%	2,784	19.1%	1,911	13.1%	608	4.2%	608	4.2%	27	0.2%	36	0.2%	29	0.2%	55	0.4%	110	0.8%	45	0.3%	92	0.6%	74	0.5%	122	0.8%	17	0.1%	14,559
その他の非鉄金 属・同圧延製品	日	16,678	58.9%	5,553	19.6%	4,829	17.1%	1,249	4.4%	1,249	4.4%	40	0.1%	172	0.6%	33	0.1%	90	0.3%	317	1.1%	51	0.2%	70	0.2%	121	0.4%	321	1.1%	34	0.1%	28,309
	米	12,658	61.9%	4,855	23.7%	2,202	10.8%	749	3.7%	749	3.7%	32	0.2%	42	0.2%	34	0.2%	53	0.3%	155	0.8%	53	0.3%	57	0.3%	87	0.4%	212	1.0%	24	0.1%	20,464
繊維・建築用 金属製品	日	5,767	64.4%	1,887	17.7%	1,253	14.0%	330	3.9%	330	3.9%	15	0.2%	42	0.4%	12	0.1%	25	0.3%	97	1.1%	19	0.2%	7	0.1%	46	0.5%	77	0.9%	10	0.1%	8,957
	米	10,964	60.7%	4,520	25.0%	1,760	9.7%	814	4.5%	814	4.5%	36	0.2%	40	0.2%	40	0.2%	55	0.3%	205	1.1%	61	0.3%	62	0.3%	99	0.6%	183	1.0%	29	0.2%	18,058
その他の金属 製品	日	48,590	70.2%	9,976	14.4%	8,575	12.4%	2,118	3.1%	2,118	3.1%	92	0.1%	392	0.6%	69	0.1%	123	0.2%	431	0.6%	99	0.1%	47	0.1%	234	0.3%	585	0.8%	46	0.1%	69,259
	米	117,898	68.8%	37,867	21.5%	13,914	7.9%	6,850	3.9%	6,850	3.9%	298	0.2%	361	0.2%	321	0.2%	381	0.2%	1,373	0.8%	497	0.3%	752	0.4%	821	0.5%	1,833	1.0%	211	0.1%	176,528

表 4-9. 一般機械分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 誘発総額		
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%			
原動機・ボイ ラ	日	69,994	64.0%	19,026	17.4%	15,954	14.6%	4,336	4.0%	4,336	4.0%	163	0.1%	630	0.6%	139	0.1%	352	0.3%	880	0.8%	233	0.2%	208	0.2%	560	0.5%	1,080	1.0%	91	0.1%	109,310
	米	101,935	66.3%	28,580	18.6%	18,020	11.7%	5,112	3.3%	5,112	3.3%	219	0.1%	313	0.2%	233	0.2%	455	0.3%	988	0.6%	364	0.2%	488	0.3%	606	0.4%	1,300	0.8%	146	0.1%	155,647
土木建設・運 搬機械	日	159,497	64.1%	46,083	18.5%	32,526	13.1%	10,550	4.2%	10,550	4.2%	397	0.2%	1,519	0.6%	381	0.2%	666	0.3%	2,056	0.8%	545	0.2%	446	0.2%	1,318	0.5%	2,991	1.2%	231	0.1%	248,658
	米	263,997	64.2%	75,807	18.4%	54,131	13.2%	17,301	4.2%	17,301	4.2%	813	0.2%	1,082	0.3%	840	0.2%	1,533	0.4%	3,478	0.8%	1,344	0.3%	1,652	0.4%	2,240	0.5%	3,829	0.9%	521	0.1%	411,236
農業機械	日	39,118	68.3%	8,568	15.0%	7,368	12.9%	2,196	3.8%	2,196	3.8%	104	0.2%	293	0.5%	85	0.1%	112	0.2%	404	0.7%	148	0.3%	67	0.1%	367	0.6%	567	1.0%	48	0.1%	57,247
	米	133,241	70.2%	29,110	15.3%	19,980	10.5%	7,414	3.9%	7,414	3.9%	325	0.2%	1,093	0.6%	226	0.1%	332	0.2%	1,534	0.8%	371	0.2%	319	0.2%	893	0.5%	2,136	1.1%	184	0.1%	189,745
金属加工・工 作機械	日	204,278	67.0%	50,557	16.5%	37,633	12.3%	12,746	4.2%	12,746	4.2%	520	0.2%	2,100	0.7%	454	0.1%	802	0.3%	2,342	0.8%	725	0.2%	387	0.1%	1,763	0.6%	3,281	1.1%	282	0.1%	305,012
	米	188,559	66.6%	52,131	18.5%	29,949	10.6%	12,284	4.3%	12,284	4.3%	596	0.2%	706	0.2%	607	0.2%	819	0.3%	2,360	0.8%	985	0.3%	1,147	0.4%	1,640	0.6%	3,059	1.1%	366	0.1%	283,104
特殊産業機械	日	132,766	68.3%	30,410	15.6%	23,141	11.7%	8,076	4.2%	8,076	4.2%	325	0.2%	1,016	0.3%	238	0.1%	504	0.3%	1,472	0.8%	245	0.1%	1,043	0.5%	2,628	1.4%	174	0.1%	194,393		
	米	100,165	65.4%	30,051	19.6%	15,236	9.9%	7,766	5.1%	7,766	5.1%	329	0.2%	397	0.3%	349	0.2%	648	0.4%	1,416	0.9%	430	0.4%	633	0.4%	904	0.6%	2,332	1.5%	219	0.1%	153,222
半導体製造装 置	日	84,437	63.9%	23,077	17.5%	18,788	14.2%	5,919	4.5%	5,919	4.5%	188	0.1%	838	0.6%	211	0.2%	338	0.3%	1,121	0.8%	261	0.2%	325	0.2%	624	0.5%	1,904	1.4%	110	0.1%	132,222
	米	70,599	63.9%	23,554	13.3%	10,030	9.1%	6,226	5.6%	6,226	5.6%	230	0.2%	399	0.4%	1,280	1.2%	384	0.3%	446	0.4%	446	0.4%	446	0.4%	637	0.6%	2,109	1.9%	180	0.2%	110,408
その他の一般 機械	日	242,049	69.1%	56,884	16.1%	38,570	11.0%	12,698	3.6%	12,698	3.6%	536	0.2%	1,777	0.5%	251	0.1%	1,263	0.4%	2,473	0.7%	704	0.2%	450	0.1%	1,706	0.5%	3,134	0.9%	276	0.1%	350,201
	米	223,981	69.6%	58,907	18.3%	26,569	8.3%	12,490	3.9%	12,490	3.9%	550	0.2%	660	0.2%	569	0.2%	756	0.2%	2,437	0.8%	914	0.3%	1,120	0.3%	1,514	0.5%	3,595	1.1%	375	0.1%	321,947
サービス用機 械	日	111,988	59.6%	32,905	17.5%	32,415	17.2%	10,749	5.7%	10,749	5.7%	391	0.2%	2,499	1.3%	420	0.2%	571	0.3%	1,887	1.0%	559	0.3%	555	0.3%	1,372	0.7%	2,293	1.2%	202	0.1%	188,057
	米	64,830	63.4%	21,807	21.3%	10,303	10.1%	5,392	5.3%	5,392	5.3%	239	0.2%	278	0.3%	242	0.2%	304	0.3%	1,331	1.3%	402	0.4%	554	0.5%	660	0.6%	1,195	1.2%	187	0.2%	102,333

産業連関表による情報部門のマクロ分析（河田）

表 4-10. 電気機械分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 増分率
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	
民生用電子機	日	117,979	58.5%	36,289	18.0%	13,762	6.8%	13,762	6.8%	560	0.3%	3,710	1.8%	569	0.3%	494	0.2%	2,026	1.0%	759	0.4%	465	0.2%	1,895	0.9%	3,037	1.5%	247	0.1%	201,648
民生用電子機	米	41,459	57.0%	11,510	15.8%	8,234	11.3%	11,500	15.8%	189	0.3%	235	0.3%	193	0.3%	206	0.3%	578	0.8%	308	0.4%	1,094	1.5%	520	0.7%	4,819	6.6%	93	0.1%	72,703
民生用電子機	日	71,340	61.6%	20,435	17.6%	17,877	15.4%	6,214	5.4%	257	0.2%	1,460	1.3%	250	0.2%	306	0.3%	1,119	1.0%	367	0.3%	355	0.3%	910	0.8%	1,059	0.9%	130	0.1%	115,866
民生用電子機	米	114,550	68.5%	26,193	15.7%	19,689	11.8%	6,916	4.1%	330	0.2%	394	0.2%	333	0.2%	662	0.4%	1,018	0.6%	541	0.3%	972	0.6%	909	0.5%	1,591	1.0%	165	0.1%	167,348
電子計算機	日	57,919	54.4%	23,180	21.8%	16,598	15.6%	8,725	8.2%	296	0.3%	1,288	1.2%	350	0.3%	391	0.4%	1,422	1.3%	462	0.4%	480	0.5%	1,130	1.1%	2,656	2.5%	249	0.2%	106,414
電子計算機	米	148,457	58.8%	33,159	15.0%	39,896	15.7%	32,788	12.9%	500	0.2%	724	0.3%	574	0.2%	637	0.3%	1,981	0.8%	822	0.3%	4,629	1.8%	1,375	0.5%	21,247	8.4%	299	0.1%	254,300
電子計算機付	日	75,818	60.8%	23,068	18.5%	17,837	14.3%	7,917	6.4%	276	0.2%	1,215	1.0%	298	0.2%	356	0.3%	1,177	0.9%	389	0.3%	377	0.3%	935	0.8%	2,820	2.3%	134	0.1%	137,108
電子計算機付	米	90,649	53.3%	30,817	18.1%	24,239	14.2%	24,412	14.4%	522	0.3%	605	0.4%	541	0.3%	459	0.3%	2,134	1.3%	853	0.5%	3,820	2.2%	1,414	0.8%	13,758	8.1%	307	0.2%	170,110
有線電気通信	日	26,534	57.0%	10,156	21.8%	6,650	14.3%	3,226	6.9%	127	0.3%	523	1.1%	189	0.4%	182	0.4%	556	1.2%	177	0.4%	156	0.3%	442	0.9%	800	1.7%	73	0.2%	46,565
有線電気通信	米	89,254	65.1%	21,978	16.0%	14,311	10.4%	11,564	8.4%	302	0.2%	374	0.3%	323	0.2%	288	0.2%	1,372	1.0%	500	0.4%	2,715	2.0%	830	0.6%	4,662	3.4%	198	0.1%	131,108
その他の電気	日	122,509	59.4%	40,478	19.6%	30,161	14.6%	13,234	6.4%	459	0.2%	2,222	1.1%	553	0.3%	630	0.3%	2,184	1.1%	643	0.3%	1,018	0.5%	1,579	0.8%	3,654	1.8%	310	0.2%	206,382
その他の電気	米	258,834	57.1%	96,435	21.3%	42,564	9.4%	55,388	12.2%	1,311	0.3%	1,866	0.8%	1,436	0.3%	1,110	0.2%	5,886	1.3%	2,175	0.5%	11,393	2.5%	3,604	0.8%	26,043	5.7%	863	0.2%	453,221
電子応用装置	日	60,579	59.8%	20,334	20.3%	13,806	13.6%	6,468	6.4%	227	0.2%	930	0.9%	303	0.3%	313	0.3%	985	1.0%	302	0.3%	428	0.4%	734	0.7%	2,134	2.1%	112	0.1%	101,386
電子応用装置	米	147,776	63.5%	40,914	17.6%	21,716	9.3%	22,442	9.6%	576	0.2%	683	0.3%	600	0.3%	482	0.2%	2,118	0.9%	949	0.4%	5,000	2.1%	1,585	0.7%	10,107	4.3%	342	0.1%	232,848
電気計測器	日	51,995	64.5%	12,615	15.7%	11,101	13.8%	4,907	6.1%	158	0.2%	674	0.8%	170	0.2%	203	0.3%	811	1.0%	223	0.3%	430	0.5%	548	0.7%	1,592	2.0%	99	0.1%	80,527
電気計測器	米	78,568	59.5%	28,823	21.8%	8,861	6.7%	15,868	12.0%	304	0.2%	363	0.3%	333	0.3%	257	0.2%	1,363	1.0%	504	0.4%	1,852	1.4%	835	0.6%	9,857	7.5%	201	0.2%	132,119
光通信素子・集積回路	日	164,184	63.2%	51,417	19.8%	29,852	11.5%	14,364	5.5%	605	0.2%	3,071	1.2%	674	0.3%	792	0.3%	2,327	0.9%	730	0.3%	957	0.4%	1,801	0.7%	3,134	1.2%	273	0.1%	259,817
光通信素子・集積回路	米	163,403	68.4%	41,733	17.5%	19,756	8.3%	14,032	5.9%	491	0.2%	588	0.2%	511	0.2%	429	0.2%	1,873	0.8%	810	0.3%	4,277	1.8%	1,350	0.6%	3,409	1.4%	296	0.1%	238,926
電子管	日	4,226	60.6%	1,368	19.6%	987	14.2%	389	5.6%	20	0.3%	61	0.9%	16	0.2%	17	0.2%	57	0.8%	32	0.5%	21	0.3%	79	1.1%	78	1.1%	8	0.1%	6,971
電子管	米	3,307	66.3%	777	15.6%	669	13.4%	235	4.7%	7	0.1%	10	0.2%	7	0.2%	12	0.2%	24	0.5%	12	0.2%	108	2.2%	19	0.4%	32	0.6%	4	0.1%	4,988
超気テープ・フレキシブルディスク	日	7,943	57.3%	2,783	20.1%	2,294	16.6%	835	6.0%	30	0.2%	243	1.8%	29	0.2%	40	0.3%	117	0.8%	43	0.3%	24	0.2%	106	0.8%	190	1.4%	13	0.1%	13,857
超気テープ・フレキシブルディスク	米	6,067	60.9%	1,735	17.4%	921	9.2%	1,245	12.5%	17	0.2%	22	0.2%	22	0.2%	21	0.2%	72	0.7%	28	0.3%	130	1.3%	47	0.5%	875	8.8%	11	0.1%	9,968
回転電気機械	日	23,795	62.9%	7,489	19.8%	4,852	12.8%	1,697	4.5%	56	0.1%	214	0.6%	62	0.2%	91	0.2%	322	0.9%	83	0.2%	76	0.2%	202	0.5%	553	1.5%	38	0.1%	37,834
回転電気機械	米	32,319	73.0%	5,820	13.1%	4,577	10.3%	1,587	3.6%	68	0.2%	91	0.2%	75	0.2%	137	0.3%	251	0.6%	112	0.3%	181	0.4%	188	0.4%	446	1.0%	37	0.1%	44,303
電球	日	14,731	68.9%	3,653	17.1%	1,833	8.6%	1,153	5.4%	50	0.2%	185	0.9%	59	0.3%	57	0.3%	180	0.8%	53	0.2%	117	0.5%	129	0.6%	305	1.4%	17	0.1%	21,372
電球	米	7,463	77.3%	1,081	11.2%	870	9.0%	245	2.5%	12	0.1%	16	0.2%	15	0.2%	15	0.2%	43	0.4%	20	0.2%	37	0.4%	33	0.3%	48	0.5%	6	0.1%	9,659
その他の電子部品	日	108,683	63.7%	32,156	18.8%	20,693	12.1%	9,069	5.3%	356	0.2%	1,841	1.1%	426	0.2%	538	0.3%	1,598	0.9%	384	0.2%	672	0.4%	927	0.5%	2,150	1.3%	177	0.1%	170,602
その他の電子部品	米	81,768	60.4%	26,188	19.3%	18,220	13.5%	9,199	6.8%	334	0.2%	419	0.3%	346	0.3%	325	0.2%	1,277	0.9%	551	0.4%	3,192	2.4%	920	0.7%	1,641	1.2%	194	0.1%	135,375
電池	日	19,083	56.2%	7,486	22.0%	5,459	16.1%	1,952	5.7%	79	0.2%	309	0.9%	104	0.3%	131	0.4%	347	1.0%	126	0.4%	88	0.3%	315	0.9%	403	1.2%	52	0.2%	33,980
電池	米	24,358	70.1%	6,085	17.5%	3,217	9.3%	1,112	3.2%	51	0.1%	65	0.2%	53	0.2%	68	0.2%	208	0.6%	85	0.2%	141	0.4%	140	0.4%	272	0.8%	29	0.1%	34,772
その他の電気機器	日	230,623	64.2%	64,186	17.9%	46,417	12.9%	18,119	5.0%	715	0.2%	2,348	0.7%	1,033	0.3%	3,284	0.9%	888	0.2%	1,177	0.3%	1,177	0.3%	2,162	0.6%	5,356	1.5%	394	0.1%	359,345
その他の電気機器	米	116,336	70.5%	25,472	15.4%	16,900	10.2%	6,268	3.8%	320	0.2%	384	0.2%	335	0.2%	574	0.3%	1,109	0.7%	521	0.3%	757	0.5%	871	0.5%	1,218	0.7%	178	0.1%	164,976

(単位：10万ドル、%)

表 4-11. 輸送機械分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 総発金額
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	
自動車	日	890,573	62.8%	241,509	17.0%	217,207	15.3%	68,110	4.8%	3,393	0.2%	10,395	0.7%	2,709	0.2%	3,815	0.3%	11,679	0.8%	5,144	0.4%	3,345	0.2%	12,957	0.9%	12,957	0.9%	1,495	0.1%	1,417,398
	米	1,401,973	66.5%	325,859	15.4%	296,107	14.0%	85,527	4.1%	3,680	0.2%	5,091	0.2%	3,776	0.2%	5,424	0.3%	13,995	0.7%	6,037	0.3%	14,300	0.7%	10,187	0.5%	20,836	1.0%	2,201	0.1%	2,109,407
自動車部品	日	158,178	63.9%	38,220	15.7%	40,656	16.4%	9,653	3.9%	439	0.2%	1,383	0.6%	349	0.1%	566	0.2%	1,900	0.8%	579	0.2%	498	0.2%	1,426	0.6%	2,204	0.9%	218	0.1%	247,407
	米	250,395	64.8%	73,370	19.0%	45,893	11.9%	16,677	4.3%	731	0.2%	946	0.2%	767	0.2%	965	0.2%	2,972	0.8%	1,208	0.3%	2,973	0.8%	2,011	0.5%	3,623	0.9%	481	0.1%	386,336
二輪自動車・ 自転車	日	37,203	64.3%	6,732	20.7%	7,822	13.5%	2,594	4.5%	104	0.2%	433	0.7%	103	0.2%	139	0.2%	468	0.8%	149	0.3%	182	0.3%	367	0.6%	596	1.0%	53	0.1%	57,835
	米	19,821	60.9%	3,802	11.7%	3,802	11.7%	2,217	6.8%	68	0.2%	92	0.3%	71	0.2%	82	0.3%	268	0.8%	113	0.3%	188	0.6%	190	0.6%	1,096	3.4%	47	0.1%	32,573
船舶・同修理	日	71,768	62.0%	20,934	18.1%	19,069	16.5%	3,977	3.4%	159	0.1%	627	0.5%	122	0.1%	240	0.2%	840	0.7%	113	0.2%	124	0.1%	507	0.4%	1,044	0.9%	101	0.1%	101,047
	米	109,403	60.9%	41,586	23.1%	17,870	9.9%	10,892	6.1%	389	0.2%	482	0.3%	418	0.2%	414	0.2%	1,496	0.8%	642	0.4%	1,900	1.1%	1,071	0.6%	3,827	2.1%	254	0.1%	179,750
鉄道車両	日	15,727	63.6%	4,507	18.2%	3,660	14.8%	848	3.4%	37	0.2%	196	0.8%	25	0.1%	69	0.3%	171	0.7%	36	0.1%	24	0.1%	83	0.3%	186	0.8%	21	0.1%	24,743
	米	40,507	69.8%	9,197	15.9%	6,275	9.3%	2,939	5.1%	97	0.2%	126	0.2%	102	0.2%	123	0.2%	464	0.8%	162	0.3%	437	0.3%	268	0.5%	1,087	1.9%	71	0.1%	58,018
航空機・同修 理	日	39,105	72.9%	8,904	16.6%	3,781	7.0%	1,875	3.5%	62	0.1%	329	0.6%	59	0.1%	117	0.2%	301	0.6%	84	0.2%	199	0.4%	174	0.3%	514	1.0%	36	0.1%	53,665
	米	456,381	70.3%	108,131	17.4%	43,518	7.0%	32,424	5.2%	1,172	0.2%	4,852	0.8%	1,938	0.3%	2,227	0.2%	4,852	0.8%	1,938	0.3%	5,739	0.9%	3,226	0.5%	10,755	1.7%	783	0.1%	620,454
その他の輸送 機械 (除別掲)	日	7,869	58.1%	2,977	22.0%	2,067	15.3%	629	4.6%	25	0.2%	76	0.6%	21	0.2%	43	0.3%	146	1.1%	35	0.3%	53	0.4%	85	0.6%	130	1.0%	15	0.1%	13,542
	米	39,328	65.0%	9,988	16.5%	8,537	14.1%	2,635	4.4%	120	0.2%	149	0.2%	122	0.2%	149	0.2%	397	0.7%	197	0.3%	352	0.6%	331	0.5%	755	1.2%	63	0.1%	60,488

表 4-12. 精密機械・その他の製造工業製品分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 総発金額
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	
カメラ・複写 機	日	30,443	57.1%	11,295	21.2%	7,984	15.0%	3,638	6.8%	156	0.3%	752	1.4%	149	0.3%	193	0.4%	566	1.1%	260	0.5%	189	0.4%	657	1.2%	648	1.2%	76	0.1%	53,301
	米	13,173	75.6%	1,968	11.3%	1,758	10.1%	531	3.0%	30	0.2%	35	0.2%	29	0.2%	46	0.3%	75	0.4%	48	0.3%	77	0.4%	81	0.5%	96	0.5%	14	0.1%	17,432
医療用機械器 具	日	45,264	66.3%	11,636	17.0%	8,343	12.2%	3,052	4.5%	136	0.2%	507	0.7%	113	0.2%	186	0.3%	563	0.8%	168	0.2%	230	0.3%	416	0.6%	667	1.0%	66	0.1%	68,295
	米	202,174	73.0%	44,028	15.9%	19,979	7.2%	10,940	3.9%	705	0.3%	693	0.2%	689	0.2%	487	0.2%	1,957	0.7%	1,130	0.4%	759	0.3%	1,897	0.7%	2,271	0.8%	352	0.1%	277,121
その他の精密 機械	日	93,074	68.5%	22,896	16.8%	13,704	10.1%	6,222	4.6%	267	0.2%	1,068	0.8%	267	0.2%	428	0.3%	1,004	0.7%	383	0.3%	435	0.3%	955	0.7%	1,290	0.9%	125	0.1%	135,897
	米	127,989	59.2%	44,584	20.6%	17,668	8.2%	26,115	12.1%	654	0.3%	716	0.3%	668	0.3%	464	0.2%	2,372	1.1%	1,060	0.5%	3,611	1.7%	1,768	0.8%	14,423	6.7%	379	0.2%	216,356
玩具・運動用 品	日	23,558	53.8%	8,551	20.3%	7,342	17.4%	2,753	6.5%	157	0.4%	321	0.8%	92	0.2%	123	0.3%	458	1.1%	271	0.6%	87	0.2%	695	1.6%	483	1.1%	65	0.2%	42,205
	米	78,689	64.7%	25,149	20.7%	11,030	9.1%	6,673	5.5%	478	0.4%	444	0.4%	459	0.4%	289	0.2%	1,053	0.9%	762	0.6%	555	0.6%	1,287	1.1%	1,151	0.9%	195	0.2%	121,540
楽器	日	7,213	66.0%	1,666	15.2%	1,446	13.2%	600	5.5%	34	0.3%	101	0.9%	58	0.5%	22	0.2%	88	0.8%	54	0.5%	12	0.1%	139	1.3%	79	0.7%	13	0.1%	10,925
	米	9,001	70.3%	2,317	18.1%	945	7.4%	537	4.2%	35	0.3%	36	0.3%	35	0.3%	25	0.2%	83	0.6%	58	0.5%	50	0.4%	98	0.8%	105	0.8%	13	0.1%	12,801
情報記録物	日	1,105	55.8%	455	23.0%	234	11.8%	186	9.4%	6	0.3%	86	4.4%	4	0.2%	5	0.3%	21	1.1%	10	0.5%	3	0.1%	26	1.3%	22	1.1%	3	0.1%	1,980
	米	52,944	54.8%	28,557	29.5%	4,174	4.3%	10,968	11.3%	800	0.8%	1,101	1.1%	763	0.8%	659	0.7%	1,530	1.6%	1,303	1.3%	638	0.7%	2,207	2.3%	1,684	1.7%	282	0.3%	96,644
筆記具・文具	日	3,134	58.8%	1,127	21.2%	699	13.1%	366	6.9%	24	0.5%	49	0.9%	18	0.3%	19	0.4%	50	0.9%	39	0.7%	6	0.1%	100	1.9%	51	1.0%	9	0.2%	5,327
	米	7,223	58.4%	2,155	17.4%	1,750	13.8%	498	4.0%	23	0.2%	60	0.5%	15	0.1%	29	0.2%	121	1.0%	39	0.3%	13	0.1%	98	0.8%	88	0.7%	13	0.1%	12,360
身近な雑貨品	日	46,054	64.1%	14,899	20.7%	7,491	10.4%	3,423	4.8%	216	0.3%	221	0.3%	222	0.3%	221	0.3%	607	0.8%	354	0.5%	203	0.3%	594	0.8%	680	0.9%	106	0.1%	71,867
	米	219	61.0%	69	20.1%	47	13.6%	18	5.3%	0	0.1%	0	0.1%	0	0.1%	1	0.4%	3	1.0%	1	0.2%	2	0.7%	2	0.4%	5	1.5%	0	0.1%	343
武器	日	106,771	67.5%	37,663	23.9%	6,497	4.1%	7,256	4.6%	271	0.2%	348	0.2%	298	0.2%	261	0.2%	1,060	0.7%	249	0.3%	1,167	0.7%	746	0.5%	2,480	1.6%	177	0.1%	158,287
	米	57,109	59.2%	19,849	20.6%	14,735	15.3%	4,770	4.9%	192	0.2%	1,126	1.2%	151	0.2%	316	0.3%	1,025	1.1%	247	0.3%	98	0.1%	609	0.6%	871	0.9%	135	0.1%	96,463
その他の製造 工業品	日	113,188	67.4%	33,487	19.9%	13,700	8.2%	7,616	4.5%	342	0.2%	392	0.2%	422	0.3%	525	0.3%	1,644	1.0%	571	0.3%	787	0.5%	941	0.6%	1,751	1.0%	242	0.1%	167,991

表 4-13. 建設分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 発生総額	
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%
住宅新建築	日	290,324	18.2%	1,052,112	66.1%	206,926	13.0%	42,289	2.7%	1,712	0.1%	5,405	0.3%	1,372	0.1%	2,535	0.2%	12,310	0.8%	2,558	0.2%	584	0.0%	6,005	0.4%	8,801	0.6%	1,007	0.1%	1,591,651	
	米	920,578	15.6%	3,953,239	67.0%	827,847	14.0%	200,438	3.4%	7,639	0.1%	10,931	0.2%	8,270	0.1%	16,658	0.3%	57,860	1.0%	12,924	0.2%	11,104	0.2%	20,754	0.4%	47,317	0.8%	7,581	0.1%	5,902,102	
非住宅新建築	日	169,046	18.1%	628,854	67.3%	112,175	12.0%	24,314	2.6%	930	0.1%	3,489	0.4%	743	0.1%	1,465	0.2%	6,007	0.6%	1,374	0.1%	366	0.0%	3,134	0.3%	6,240	0.7%	564	0.1%	933,389	
	米	217,153	13.8%	1,216,489	77.1%	98,598	6.3%	44,809	2.8%	1,401	0.1%	1,213	0.1%	1,628	0.1%	2,885	0.2%	15,624	1.0%	2,475	0.2%	2,273	0.1%	3,852	0.2%	10,508	0.7%	2,042	0.1%	1,577,049	
建設補修	日	1	21.4%	2	60.9%	1	13.6%	0	4.1%	0	0.1%	0	0.4%	0	0.1%	0	0.2%	0	2.1%	0	0.1%	0	0.3%	0	0.3%	0	0.6%	0	0.1%	4	
	米	56	10.3%	432	79.0%	44	8.1%	14	2.6%	0	0.1%	1	1.1%	1	1.0%	1	0.2%	4	0.8%	1	0.2%	1	0.2%	1	0.2%	3	0.6%	1	0.1%	546	
その他の建設	日	310,888	15.9%	1,361,702	69.5%	221,429	11.3%	64,617	3.3%	1,816	0.1%	6,559	0.3%	1,395	0.1%	4,746	0.2%	24,823	1.3%	2,734	0.1%	912	0.0%	6,265	0.3%	13,985	0.7%	1,384	0.1%	1,958,637	
	米	370,121	12.6%	2,287,069	77.6%	202,535	6.9%	89,339	3.0%	2,880	0.1%	4,494	0.2%	3,410	0.1%	6,332	0.2%	29,090	1.0%	5,031	0.2%	4,590	0.2%	7,896	0.3%	21,586	0.7%	4,031	0.1%	2,940,064	

表 4-14. 電力・ガス・水道・熱供給・廃棄物処理分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 発生総額	
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%
電力	日	21,549	6.7%	261,125	81.6%	22,861	7.1%	14,409	4.5%	415	0.1%	1,968	0.6%	332	0.1%	1,247	0.4%	2,002	0.6%	684	0.2%	1,130	0.4%	1,702	0.5%	4,731	1.5%	199	0.1%	319,944	
	米	90,490	8.9%	857,890	84.8%	38,838	3.8%	23,931	2.4%	1,600	0.1%	1,247	0.1%	1,217	0.1%	1,627	0.2%	3,189	0.3%	1,908	0.2%	3,657	0.4%	3,194	0.3%	6,121	0.6%	611	0.1%	1,011,149	
ガス	日	4,873	7.0%	50,638	72.3%	9,556	13.6%	4,999	7.1%	189	0.3%	664	0.9%	130	0.2%	485	0.7%	634	0.9%	325	0.5%	130	0.2%	833	1.2%	1,535	2.2%	74	0.1%	70,065	
	米	161,782	33.0%	275,556	56.2%	35,658	7.5%	17,714	3.6%	496	0.1%	807	0.2%	644	0.1%	2,266	0.5%	3,248	0.7%	843	0.2%	1,753	0.4%	1,364	0.3%	5,726	1.2%	567	0.1%	490,709	
水道・熱供給	日	9,723	7.5%	104,872	80.8%	7,948	6.1%	7,238	5.6%	142	0.1%	666	0.5%	118	0.1%	514	0.4%	1,055	0.8%	220	0.2%	62	0.0%	531	0.4%	3,853	3.0%	78	0.1%	129,780	
	米	5,423	2.0%	256,434	95.2%	3,759	1.4%	3,644	1.4%	92	0.0%	175	0.1%	138	0.1%	265	0.1%	1,190	0.4%	166	0.1%	327	0.1%	253	0.1%	933	0.3%	104	0.0%	269,261	
廃棄物処理	日	4,491	4.2%	92,558	87.0%	6,916	6.5%	2,390	2.2%	92	0.1%	469	0.4%	67	0.1%	179	0.2%	678	0.6%	101	0.1%	36	0.0%	211	0.2%	509	0.5%	48	0.0%	106,355	
	米	5,402	4.8%	99,461	87.9%	4,064	3.6%	4,204	3.7%	129	0.1%	239	0.2%	189	0.2%	591	0.5%	933	0.8%	222	0.2%	285	0.3%	356	0.3%	1,113	1.0%	147	0.1%	113,133	

表 4-15. 商業分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 発生総額	
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%
卸売	日	101,584	3.1%	571,081	17.5%	2,439,518	74.7%	153,080	4.7%	4,848	0.1%	18,736	0.6%	3,961	0.1%	8,015	0.2%	57,661	1.8%	6,083	0.2%	1,141	0.0%	14,450	0.4%	33,877	1.0%	4,309	0.1%	3,265,202	
	米	140,517	2.7%	824,003	16.0%	3,941,133	76.3%	258,256	5.0%	13,995	0.3%	74,778	0.5%	13,883	0.3%	39,242	0.8%	46,228	0.9%	23,120	0.4%	19,306	0.4%	38,530	0.7%	33,126	0.6%	6,048	0.1%	5,164,009	
小売	日	98,488	3.7%	495,550	18.4%	1,918,829	71.4%	175,216	6.5%	7,546	0.3%	22,856	0.9%	4,125	0.2%	9,383	0.4%	42,547	1.6%	11,650	0.4%	975	0.0%	28,569	1.1%	43,648	1.6%	3,717	0.1%	2,688,083	
	米	272,876	3.0%	1,857,656	20.1%	6,640,471	72.0%	450,492	4.9%	31,173	0.3%	43,275	0.5%	29,421	0.3%	57,814	0.6%	70,066	0.8%	48,394	0.5%	7,155	0.1%	81,705	0.9%	68,644	0.7%	12,846	0.1%	9,221,495	

表 4-16. 金融・保険・不動産分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 増産総額	
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%
金融	日	10,675	2.4%	380,992	85.4%	14,852	3.3%	39,631	8.9%	1,604	0.4%	6,929	1.6%	938	0.2%	2,904	0.7%	5,635	1.3%	2,795	0.6%	114	0.0%	7,194	1.6%	10,586	2.4%	933	0.2%	446,150	
	米	39,445	0.9%	4,130,062	93.2%	45,196	1.0%	218,465	4.9%	9,848	0.2%	15,686	0.4%	11,133	0.3%	54,976	1.2%	16,629	0.4%	4,100	0.1%	27,148	0.6%	60,997	1.4%	7,292	0.2%	4,433,169			
保険	日	23,078	2.8%	691,801	84.1%	39,861	4.8%	67,500	8.2%	1,858	0.2%	12,657	1.5%	1,498	0.2%	5,233	0.6%	9,663	1.2%	3,018	0.4%	215	0.0%	7,453	0.9%	24,333	3.0%	1,571	0.2%	822,240	
	米	18,931	0.8%	2,292,601	93.9%	30,940	1.3%	99,039	4.1%	4,448	0.2%	22,600	0.9%	5,040	0.2%	3,548	0.1%	23,105	0.9%	7,477	0.3%	844	0.0%	12,276	0.5%	15,588	0.6%	4,112	0.2%	2,441,512	
不動産業	日	20,091	1.9%	1,030,414	93.9%	19,925	1.8%	25,840	2.4%	1,313	0.1%	2,601	0.2%	745	0.1%	1,313	0.1%	5,931	0.5%	2,523	0.2%	143	0.0%	6,131	0.6%	4,601	0.4%	539	0.0%	1,097,169	
	米	37,869	1.0%	3,700,000	97.1%	35,974	0.6%	47,109	1.2%	1,691	0.0%	2,233	0.1%	2,004	0.1%	1,130	0.1%	17,186	0.5%	2,909	0.1%	1,569	0.0%	4,539	0.1%	10,662	0.3%	1,938	0.1%	3,808,951	
住宅賃貸料 (帰属家賃)	日	47,100	1.1%	4,009,010	97.3%	35,672	0.9%	28,009	0.7%	99	0.0%	4,243	0.1%	655	0.0%	1,928	0.0%	6,831	0.2%	1,701	0.0%	214	0.0%	4,212	0.1%	6,587	0.2%	648	0.0%	4,019,951	
	米	255,421	2.3%	10,691,918	94.8%	192,188	1.7%	138,122	1.2%	5,501	0.0%	11,095	0.1%	6,580	0.1%	8,282	0.1%	32,935	0.3%	9,279	0.1%	4,489	0.0%	15,100	0.1%	40,284	0.4%	4,577	0.0%	11,277,649	

(単位：10万ドル、%)

表 4-17. 運輸分野

産業部門	国	財務部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 増産総額	
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%
鉄道	日	21,785	6.2%	80,637	22.9%	238,605	67.7%	11,164	3.2%	534	0.2%	1,754	0.5%	263	0.1%	771	0.2%	2,425	0.7%	758	0.2%	416	0.1%	1,848	0.5%	2,141	0.6%	255	0.1%	352,191	
	米	8,840	7.5%	40,720	34.5%	63,809	54.0%	4,760	4.0%	162	0.1%	251	0.2%	190	0.2%	263	0.2%	810	0.7%	271	0.2%	181	0.2%	446	0.4%	2,063	1.7%	124	0.1%	118,130	
道路旅客輸送	日	8,012	4.0%	22,253	11.0%	167,831	83.2%	3,563	1.8%	152	0.1%	452	0.2%	104	0.1%	192	0.1%	962	0.5%	252	0.1%	31	0.0%	591	0.3%	712	0.4%	116	0.1%	201,642	
	米	29,834	17.5%	61,100	35.9%	69,625	40.9%	9,621	5.7%	325	0.2%	615	0.4%	417	0.2%	1,051	0.6%	2,788	1.6%	562	0.3%	477	0.3%	897	0.5%	2,178	1.3%	311	0.2%	170,181	
道路貨物輸送	日	24,231	5.6%	54,264	12.5%	344,266	79.3%	11,271	2.6%	493	0.1%	1,447	0.3%	344	0.1%	552	0.1%	3,443	0.8%	623	0.1%	85	0.0%	1,510	0.3%	2,438	0.6%	337	0.1%	434,031	
	米	65,029	7.3%	223,587	25.2%	542,054	61.1%	56,723	6.4%	1,008	0.1%	2,118	0.2%	1,198	0.1%	27,996	3.2%	10,592	1.2%	1,770	0.2%	1,163	0.1%	2,772	0.3%	7,094	0.8%	1,012	0.1%	887,393	
水運・同付帯 サービス	日	13,824	7.3%	45,010	24.1%	121,971	64.5%	7,771	4.1%	300	0.2%	800	0.4%	164	0.1%	607	0.3%	2,716	1.4%	422	0.2%	58	0.0%	988	0.5%	1,520	0.8%	196	0.1%	189,176	
	米	32,119	7.4%	104,482	24.1%	272,569	63.0%	23,706	5.5%	746	0.2%	1,044	0.2%	799	0.2%	8,939	2.1%	5,140	1.2%	1,280	0.3%	549	0.1%	2,059	0.5%	2,622	0.6%	528	0.1%	432,877	
航空輸送・同 付帯サービス	日	16,142	10.6%	36,634	24.0%	91,835	60.2%	8,048	5.3%	358	0.2%	989	0.6%	234	0.2%	445	0.3%	1,640	1.1%	641	0.4%	85	0.1%	1,490	1.0%	1,971	1.3%	195	0.1%	152,600	
	米	69,586	10.1%	179,259	26.0%	409,321	59.4%	30,572	4.4%	1,238	0.2%	1,609	0.2%	1,321	0.2%	2,919	0.4%	10,997	1.6%	2,194	0.3%	1,075	0.2%	3,424	0.5%	5,015	0.7%	779	0.1%	688,738	
その他の運輸 付帯サービス	日	9,700	5.7%	33,738	19.9%	121,365	71.6%	4,722	2.8%	173	0.1%	695	0.4%	120	0.1%	196	0.1%	1,123	0.7%	256	0.2%	43	0.0%	587	0.3%	1,431	0.8%	98	0.1%	169,523	
	米	68,927	13.2%	241,263	46.3%	180,299	34.6%	30,872	5.9%	675	0.1%	1,311	0.3%	1,119	0.2%	10,882	2.1%	5,047	1.0%	1,158	0.2%	1,408	0.3%	1,857	0.4%	6,665	1.3%	749	0.1%	521,362	
倉庫	日	1,337	4.0%	8,366	25.1%	22,323	66.9%	1,318	4.0%	45	0.1%	115	0.3%	30	0.1%	72	0.2%	530	1.6%	39	0.1%	14	0.0%	90	0.3%	349	1.0%	34	0.1%	33,344	
	米	439	3.4%	3,089	23.6%	9,114	69.7%	432	3.3%	13	0.1%	18	0.1%	17	0.1%	108	0.8%	107	0.8%	22	0.2%	10	0.1%	35	0.3%	88	0.7%	14	0.1%	13,073	
旅行代理業	日	1,021	2.6%	10,699	27.7%	22,707	58.7%	4,256	11.0%	159	0.4%	629	1.6%	96	0.2%	225	0.6%	733	1.9%	284	0.7%	11	0.0%	737	1.9%	1,286	3.3%	95	0.2%	38,683	
	米	2,769	2.7%	25,337	24.3%	65,923	63.1%	10,420	10.0%	640	0.6%	1,448	1.1%	679	0.7%	556	0.5%	1,820	1.7%	1,052	1.0%	100	0.1%	1,766	1.7%	2,298	2.2%	360	0.3%	104,449	

(単位：10万ドル、%)

産業連関表による情報部門のマクロ分析（河田）

表 4-18. サービス分野

産業部門	国	財貨部門計		サービス部門計		流通部門計		情報部門計		新聞		印刷		出版		郵便		通信		放送		研究		広告		情報サービス		インターネットサービス		付加価値 増額率
		額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	額	%	
公務	日	156,989	4.8%	2,844,742	86.7%	151,565	4.6%	128,958	3.9%	3,073	0.1%	27,852	0.8%	7,225	0.2%	16,201	0.5%	20,990	0.6%	2,789	0.1%	1,357	0.0%	6,317	0.2%	41,556	1.3%	1,599	0.0%	3,282,255
	米	1,024,716	5.6%	15,168,853	83.5%	655,677	3.6%	3,188,477	7.3%	21,402	0.1%	67,115	0.5%	47,967	0.3%	51,033	0.3%	297,052	1.6%	34,263	0.2%	305,963	1.7%	50,150	0.3%	392,553	2.2%	30,977	0.2%	18,167,724
教育	日	52,285	2.5%	1,928,818	92.4%	62,913	3.0%	42,764	2.0%	1,594	0.1%	12,211	0.6%	5,799	0.3%	3,182	0.2%	4,837	0.2%	2,067	0.1%	247	0.0%	5,004	0.2%	7,245	0.3%	562	0.0%	2,062,780
	米	100,103	4.9%	1,745,666	86.0%	61,115	3.0%	123,016	6.1%	2,580	0.1%	10,196	0.5%	9,578	0.3%	9,578	0.3%	22,914	1.1%	4,367	0.2%	20,444	1.0%	6,909	0.3%	28,444	1.4%	11,520	0.6%	2,029,899
医療・保健・介護	日	448,649	10.7%	3,247,417	77.6%	336,990	8.1%	151,637	3.6%	5,452	0.1%	23,444	0.6%	7,227	0.2%	35,248	0.8%	7,986	0.2%	5,153	0.1%	19,160	0.5%	35,060	0.8%	3,036	0.1%	4,184,663		
	米	750,929	5.3%	12,603,553	88.4%	437,237	3.1%	467,338	3.3%	16,750	0.1%	37,716	0.3%	26,860	0.2%	60,129	0.4%	123,159	0.9%	30,550	0.2%	23,359	0.2%	45,688	0.3%	89,405	0.6%	14,259,056		
医薬	日	1,612	0.2%	20,900	83.9%	1,487	0.2%	745	0.3%	40	0.2%	67	0.3%	166	0.7%	72	0.3%	17	0.1%	183	0.8%	103	0.4%	168	0.3%	89	0.1%	21,933		
	米	17,508	12.8%	102,148	74.8%	9,703	7.1%	7,150	5.2%	243	0.2%	432	0.3%	603	0.4%	351	0.3%	2,392	1.8%	387	0.3%	632	0.5%	600	0.4%	1,154	0.8%	356	0.3%	136,508
その他の非営利団体	日	18,625	5.4%	271,253	79.2%	23,973	7.0%	28,555	8.3%	573	0.2%	9,974	2.9%	2,568	0.7%	2,568	0.7%	5,072	1.5%	619	0.2%	88	0.0%	1,405	0.4%	5,702	1.7%	2,777	0.1%	342,406
	米	37,977	2.9%	1,150,029	87.7%	42,939	3.3%	79,906	6.1%	2,780	0.2%	11,367	0.5%	5,583	0.4%	9,154	0.7%	15,599	1.2%	4,648	0.4%	2,604	0.2%	7,553	0.6%	17,881	1.4%	2,377	0.2%	1,310,851
機械器具賃貸業	日	702	4.8%	12,816	87.8%	632	4.3%	454	3.1%	18	0.1%	59	0.4%	11	0.1%	29	0.2%	75	0.5%	32	0.2%	4	0.0%	79	0.5%	137	0.9%	9	0.1%	14,604
	米	1,242	2.9%	35,318	83.1%	4,108	9.7%	1,844	4.4%	359	0.3%	123	0.3%	88	0.2%	289	0.7%	500	1.2%	134	0.3%	76	0.2%	216	0.5%	284	0.7%	55	0.1%	42,513
貸自動車	日	291	2.7%	10,055	91.1%	359	3.3%	287	2.6%	10	0.1%	30	0.3%	6	0.1%	23	0.2%	84	0.8%	19	0.2%	2	0.0%	45	0.4%	62	0.6%	7	0.1%	10,993
	米	9,724	1.9%	466,060	90.8%	14,481	2.8%	22,974	4.5%	1,453	0.3%	1,582	0.3%	1,632	0.3%	1,628	0.3%	5,574	1.1%	2,397	0.5%	690	0.1%	3,985	0.8%	3,186	0.6%	848	0.2%	513,238
その他の物品賃貸業	日	2,126	2.9%	39,698	88.0%	1,916	4.2%	1,375	3.0%	1,375	3.0%	179	0.4%	34	0.1%	88	0.2%	227	0.5%	98	0.2%	12	0.0%	240	0.5%	414	0.9%	28	0.1%	45,116
	米	7,962	4.7%	21,485	81.8%	25,395	9.4%	15,772	5.8%	841	0.3%	1,434	0.4%	835	0.3%	1,142	0.4%	3,686	1.4%	1,399	0.5%	613	0.2%	2,315	0.9%	3,359	1.2%	438	0.2%	270,613
自動車修理	日	57,054	23.7%	144,858	60.2%	30,361	12.6%	8,240	3.4%	364	0.2%	987	0.4%	255	0.1%	579	0.2%	2,628	1.1%	490	0.2%	198	0.1%	1,161	0.5%	1,383	0.6%	195	0.1%	240,513
	米	101,995	7.5%	1,098,832	80.8%	98,685	7.3%	59,798	4.4%	3,113	0.2%	5,510	0.4%	3,376	0.2%	3,980	0.3%	14,787	1.1%	5,170	0.4%	1,837	0.1%	8,540	0.6%	11,238	0.8%	2,248	0.2%	1,350,311
その他の修理	日	5,723	29.0%	9,844	49.9%	3,389	17.2%	787	4.0%	28	0.1%	127	0.6%	24	0.1%	65	0.3%	197	1.0%	41	0.2%	31	0.2%	94	0.5%	165	0.8%	17	0.1%	19,744
	米	7,960	4.8%	145,206	88.2%	5,623	3.4%	5,780	3.5%	208	0.1%	336	0.2%	271	0.2%	578	0.4%	1,701	1.0%	355	0.2%	163	0.1%	566	0.3%	1,295	0.8%	308	0.2%	164,569
建物サービス	日	881	3.6%	21,394	88.1%	1,022	4.2%	900	4.1%	50	0.2%	118	0.5%	59	0.2%	37	0.2%	205	0.8%	83	0.3%	4	0.0%	212	0.9%	201	0.8%	21	0.1%	24,288
	米	4,822	6.9%	59,129	84.4%	2,113	3.0%	4,010	5.7%	118	0.2%	171	0.2%	156	0.2%	162	0.2%	1,776	2.5%	214	0.3%	100	0.1%	322	0.5%	769	1.1%	222	0.3%	70,073
法律・財務・会計サービス	日	181	1.9%	8,778	89.3%	271	2.9%	542	5.8%	11	0.1%	52	0.6%	55	0.6%	21	0.2%	114	1.2%	21	0.2%	2	0.0%	51	0.5%	208	2.2%	8	0.1%	9,272
	米	10,744	1.1%	928,371	93.5%	13,049	1.3%	40,317	4.1%	1,410	0.1%	2,847	0.3%	3,520	0.4%	2,849	0.3%	11,096	1.1%	2,418	0.2%	541	0.1%	3,866	0.4%	10,225	1.0%	1,536	0.2%	992,481
その他の対事業サービス	日	8,032	2.5%	285,697	90.4%	9,093	2.9%	13,321	4.2%	519	0.2%	2,844	0.6%	311	0.1%	657	0.2%	3,289	1.0%	817	0.3%	62	0.0%	2,052	0.6%	3,191	1.0%	379	0.1%	316,143
	米	24,874	1.7%	1,364,843	92.1%	25,747	1.7%	66,856	4.5%	2,370	0.2%	5,856	0.4%	3,911	0.3%	5,610	0.4%	15,509	1.0%	4,033	0.3%	1,800	0.1%	6,503	0.4%	18,362	1.2%	2,813	0.2%	1,483,320
映画	日	2,633	6.5%	33,093	81.2%	2,751	6.8%	2,264	5.6%	119	0.3%	436	1.1%	65	0.2%	85	0.2%	373	0.9%	282	0.7%	20	0.0%	507	1.2%	327	0.8%	51	0.1%	40,741
	米	7,850	2.4%	297,770	91.0%	4,920	1.5%	16,767	5.1%	1,434	0.4%	1,612	0.5%	1,363	0.4%	955	0.3%	2,520	0.8%	2,482	0.8%	171	0.1%	3,955	1.2%	1,806	0.6%	470	0.1%	327,307
娯楽サービス	日	32,938	4.6%	611,077	85.1%	38,099	5.3%	36,140	5.0%	1,257	0.2%	8,683	1.2%	1,658	0.2%	1,621	0.2%	4,490	0.6%	2,859	0.4%	193	0.0%	5,340	0.7%	9,513	1.3%	526	0.1%	718,254
	米	182,028	6.3%	718,958	64.2%	168,205	15.0%	49,551	4.4%	2,335	0.2%	5,191	0.2%	3,072	0.3%	15,507	1.4%	5,711	0.5%	418	0.0%	8,091	0.7%	7,016	0.6%	9,319	0.6%	2,409	0.2%	1,119,342
飲食店	日	358,482	9.0%	3,175,125	80.0%	226,625	5.7%	206,897	5.2%	10,853	0.3%	4,444	0.4%	41,546	1.0%	35,185	0.9%	19,900	0.5%	7,218	0.2%	29,876	0.8%	29,319	0.7%	6,812	0.2%	3,967,129		
旅館・その他宿泊所	日	44,115	11.7%	270,313	71.6%	47,642	12.6%	15,495	4.1%	727	0.2%	1,759	0.5%	475	0.1%	1,007	0.3%	3,916	1.0%	957	0.3%	129	0.0%	1,992	0.5%	4,218	1.1%	314	0.1%	684,125
	米	23,736	3.5%	597,887	87.4%	13,689	2.0%	48,913	7.1%	3,020	0.4%	4,314	0.6%	3,229	0.5%	9,836	1.4%	7,999	1.2%	5,203	0.8%	1,147	0.2%	8,284	1.2%	4,325	0.6%	1,557	0.2%	853,716
娯楽・美容業	日	8,453	3.4%	220,743	89.4%	10,472	4.2%	7,337	3.0%	513	0.2%	977	0.4%	553	0.2%	383	0.2%	1,853	0.8%	1,192	0.5%	50	0.0%	1,076	0.4%	621	0.3%	140	0.1%	247,005
	米	16,738	3.6%	492,948	88.8%	14,026	3.1%	20,004	4.4%	1,575	0.2%	4,031	0.5%	1,799	0.3%	3,371	0.3%	4,580	1.0%	2,267	0.5%	587	0.1%	3,590	0.8%	2,146	0.5%	598	0.1%	455,616
その他の娯楽人サービス	日	39,260	4.7%	739,742	86.7%	47,376	5.6%	27,238	3.2%	1,575	0.2%	4,031	0.5%	823	0.1%	2,333	0.3%	4,400	0.6%	2,435	0.3%	202	0.0%	5,650	0.7%	4,145	0.5%	555	0.1%	853,716
	米	36,557	4.2%	746,764	86.6%	29,573	3.4%	49,641	5.8%	1,915	0.2%	5,460	0.6%	7,070	0.8%	4,062	0.5%	14,302	1.7%	3,281	0.4%	909	0.1%	5,278	0.6%	5,645	0.7%	1,720	0.2%	862,535